



Cisco IP 会議用電話 7832 マルチプラットフォーム フォンユーザー ガイド

最終更新：2025 年 6 月 23 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承知ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザー側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 機器と受信装置の距離を広げる。
- 受信装置が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

定型 このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。定型 マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハードコピーおよび複製されたソフトコピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンラインバージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイトwww.cisco.com/jp/go/offices をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標のリストを表示するには、次の URL にアクセスしてください。<https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html> 記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

電話機 1

その Cisco IP 会議用電話 7832	1
機能のサポート	2
このドキュメントでサポートされる電話機	2
新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(4) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(3) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(2) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能	4
ファームウェア リリース 11.3(7) の新機能および変更された機能	4
ファームウェア リリース 11.3(6) の新機能および変更された機能	5
ファームウェア リリース 11.3(5) の新機能および変更された機能	6
ファームウェア リリース 11.3(4) の新機能および変更された機能	6
ファームウェア リリース 11.3(3) の新機能および変更された機能	6
ファームウェア リリース 11.3(2) の新機能および変更された機能	7
ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能	10
ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能	10
ファームウェア リリース 11.2(3) の新機能および変更された機能	11
ファームウェア リリース 11.2(1) の新機能および変更された機能	11
ファームウェア リリース 11.1(2) の新機能および変更された機能	12
電話機のセットアップ	12
会議用電話への給電方法	12
ネットワークに接続する	13
アクティベーションコードで電話を搭載する	13

短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする	14
ユーザー認証制御	14
別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンション モビリティ)	14
電話でユーザーパスワードを作成する	15
ゲストとして電話機にサインインする	16
ゲストとして電話機からサインアウトする	16
電話機でのプロファイル ルールの設定	17
ホーム画面でのサービス中断メッセージ	17
電話機の Web ページ	17
短縮ダイヤル番号	18
Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア	19
電話機のキーパッド文字	21
会議用電話のメニュー操作	21
会議用電話のソフトキー	22
会議用電話の画面	22
電話画面のクリーニング	22
省電力	23
電話機の電源を入れる	23
追加のヘルプと情報	23
アクセシビリティ機能	24
オンプレミス電話	24
視覚障がい者向けアクセシビリティ機能	25
Cisco IP 会議用電話 7832	27
サードパーティのアクセシビリティ アプリケーション	28
トラブルシューティング	28
電話機についての情報を取得する	28
電話機でカスタマイズ状態を表示する	29
ネットワークステータスを表示する	30
電話機のステータスを表示する	31
電話機でステータスメッセージを表示する	31
回線ステータスを表示する	32

コール統計のコールレコードを表示する	32
802.1X トランザクション ステータスの表示	33
リポート履歴を表示する	34
Cisco MPP デバイスの電話機の問題をすべて報告する	34
サーバーから工場出荷時の状態へリセットする	34
電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する	35
電話機の接続を切断する	35
電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する	36
移行ライセンスタイプの検索	36
MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索	37
Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定	37

第 2 章

コール (Calls) 39

コールの発信	39
コールの発信	39
緊急コールの発信	40
番号のリダイヤル	40
スピード ダイヤル	41
電話機の画面から短縮ダイヤル コードを割り当てる	41
短縮ダイヤル コードを使用して発信	41
国際番号のダイヤル	42
安全なコール	42
コールへの応答	42
コールに応答する	42
会議用電話でコール ウェイティングへ応答する	42
コールの拒否	43
着信通話を無音にする	43
応答不可をオンにする	44
スターコードを使用してDNDをオンまたはオフにします	44
コールのミュート	45

コールの保留	45
コールを保留にする	45
長時間にわたって保留されているコールに応答する	45
アクティブ通話と保留通話の切り替え	46
コールの転送	46
電話機の Web ページによるコール転送	47
機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する	48
通話の転送	49
別の担当者にコールを転送する	49
転送を行う前の会話	49
電話会議とミーティング	50
他の人をコールに追加する	50
アドホック会議でホストである参加者を削除する	50
アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する	51
参加者リストを参加者として表示する	51
通話の録音	52
インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先	52
プレゼンス	53
IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信	53
プレゼンス状態の変更	53
電話機のグループのページング (マルチキャストページング)	54
XML アプリケーションとマルチキャストページング	55
XML アプリケーションの詳細を表示する	55
コールセンター機能	56
コールセンターエージェントとしてのサインイン	56
コールセンターエージェントとしてのサインアウト	57
コールセンターエージェントとしてのステータス変更	57
コールセンター コールの受信	58
エージェント コールの保留	58
コールセンター コール中の処置コードの設定	58
コールをトレースする	59

スーパーバイザへのコールのエスカレーション 59

第 3 章

連絡先 61

の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 61

社内ディレクトリ (Corporate Directory) 63

Webex ディレクトリ 63

Webex ディレクトリにて連絡先を検索 63

すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索 65

Webex ディレクトリ名の編集 66

Broadsoft ディレクトリ 67

Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 67

BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集 68

BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する 69

BroadSoft ディレクトリ名の編集 71

Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集 72

のログイン情報のユーザ ID 編集 72

BroadSoft ディレクトリのパスワードを編集 74

LDAP ディレクトリ 74

LDAP ディレクトリのログイン情報の編集 74

LDAPディレクトリにて連絡先を検索 75

LDAP ディレクトリの連絡先に電話する 76

LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集 77

XML ディレクトリ 78

XML ディレクトリの連絡先に電話する 78

XML ディレクトリの連絡先番号の編集 79

個人用アドレス帳 80

個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 80

電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加 81

個人用アドレス帳での連絡先の検索 81

個人用アドレス帳の連絡先へのコール 82

個人用アドレス帳の連絡先の編集 82

個人用アドレス帳から連絡先を削除する 83

着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ 83

第 4 章

通話履歴 85

最近の通話リスト 85

最近の通話履歴を表示する 85

Webex 通話記録時間の表示 87

Webex 通話のスパムの表示 88

サーバーからの通話履歴を表示 89

最近の通話履歴に戻る 89

最近の通話履歴を消去する 90

通話履歴レコードからの連絡先の作成 90

通話レコードの削除 91

全ての通話履歴を削除 92

第 5 章

ボイスメール 93

ボイスメールアカウント 93

電話機でのボイスメールのセットアップ 93

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認する 94

ボイスメールへのアクセス 94

音声ボイスメールへのアクセス 95

ボイスメールを設定した電話機の動作 95

ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作 96

第 6 章

設定 97

電話設定の概要 98

呼出音の変更 98

電話画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。 98

電話機からのコール転送 99

電話機の Web ページによる着信音の割り当て 100

電話機のウェブページから DND をオンにする 101

電話ウェブページからスクリーンセーバーを設定する	101
電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする	102
電話機の Web ページからコール待機を有効にする	103
非通知着信の拒否	103
発信者 ID のブロック	103
コール待機を有効にする	104
通話を安全化する	104
自動応答ページのセットアップ	105
ボイスメールのセットアップ	105
[HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]	106
自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ	106
手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ	106
電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ	107
時間形式を変更する	109
日付形式の変更	110
スクリーンセーバーの変更	110
電話機の背景としてロゴを追加する	111
電話機のページから壁紙を変更する	112
言語の設定	112
パスワードの設定	113
電話機のウェブページからのパスワードの設定	113
プロフィールアカウントのセットアップ	114
BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加	114

第 7 章

製品の安全性とセキュリティ	117
安全性とパフォーマンスの情報	117
停電	117
外部デバイス	117
電話機への電力供給方法	118
ネットワーク輻輳時の電話機の挙動	118
UL 警告	118

ENERGYSTAR	119
製品ラベル	119
準拠宣言	119
EU への適合宣言	119
CE マーク	119
適合宣言 (カナダ)	119
ニュージーランドへの適合宣言	121
接続許可 (PTC) 一般警告	121
適合情報 (ブラジル)	121
適合情報 (日本)	121
FCC 準拠宣言	121
FCC Part 15.19 宣言	121
FCC Part 15.21 宣言	122
FCC RF 被曝に関する宣言	122
FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言	122
シスコ製品のセキュリティの概要	122
重要なオンライン情報	123



第 1 章

電話機

- その Cisco IP 会議用電話 7832 (1 ページ)
- このドキュメントでサポートされる電話機 (2 ページ)
- 新機能および変更された機能 (3 ページ)
- 電話機のセットアップ (12 ページ)
- 別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンション モビリティ) (14 ページ)
- 電話でユーザーパスワードを作成する (15 ページ)
- ゲストとして電話機にサインインする (16 ページ)
- 電話機でのプロファイルルールの設定 (17 ページ)
- ホーム画面でのサービス中断メッセージ (17 ページ)
- 電話機の Web ページ (17 ページ)
- 短縮ダイヤル番号 (18 ページ)
- Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア (19 ページ)
- 省電力 (23 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (23 ページ)

その Cisco IP 会議用電話 7832



電話機は 360 度の無指向性高感度マイクを備えています。最大で 2.1 m (7 フィート) 離れた場所からでも、相手にはっきりと聞こえます。また、携帯電話やその他のワイヤレス デバイスからの干渉に抵抗する技術が採用されており、妨害のないクリアな通信の提供を保証します。

他のデバイスと同様に、Cisco IP 電話は設定し、管理する必要があります。これらの電話機は、次のコーデックのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G722.2 AMR-WB
- G.729a/G.729ab
- G.726
- iLBC
- Opus
- iSAC



注意 セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phones は、通話転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイスメッセージングシステムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP Phones では、さらにその他の各種の機能も提供します。

さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、アクティブ コールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、サービスプロバイダーまたは管理者に問い合わせてください。

このドキュメントでサポートされる電話機

このドキュメントでは、次の電話機をサポートしています。

- Cisco IP 会議用電話 7832 マルチプラットフォーム フォン

このドキュメントでは、電話機またはCisco IP 電話という用語は上記の電話機を指します。

新機能および変更された機能

ファームウェア リリース 12.0(4) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
1回線に1回のコールをサポートするトピックを更新	通話の転送 (49 ページ) 転送を行う前の会話 (49 ページ)

ファームウェア リリース 12.0(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
工場出荷時の状態へのリセット後のサポートパスワードのセットアップについて言及する新しいトピックを追加。	電話でユーザーパスワードを作成する (15 ページ)
サーバーからの工場出荷時の状態へのリセットをサポートする新しいトピックを追加	サーバーから工場出荷時の状態へリセットする (34 ページ)
マルチキャストページングからのXMLアプリケーションの呼び出しをサポートする新しいトピックを追加	XMLアプリケーションとマルチキャストページング (55 ページ) XMLアプリケーションの詳細を表示する (55 ページ)

ファームウェア リリース 12.0(2) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
アドホック会議の参加者リストをホストとして管理するタスクのためのトピックを新規追加しました	アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する (51 ページ)
アドホック会議の参加者リストを参加者として管理するタスクのためのトピックを新規追加しました	参加者リストを参加者として表示する (51 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
アドホック会議の参加者リストをホストとして削除するタスクのためのトピックを新規追加しました	アドホック会議でホストである参加者を削除する (50 ページ)

ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
Site Survivability Gateway (SGW) で新しいトピックを追加しました	ホーム画面でのサービス中断メッセージ (17 ページ)
Webex 通話記録時間を表示するための新しいタスクを追加しました	Webex 通話記録時間の表示 (87 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(7) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
Webex 通話のスパムの表示をサポートするトピックが追加されました	Webex 通話のスパムの表示 (88 ページ)
Webex 通話のトピックが更新されました	最近の通話履歴を表示する (85 ページ)
電話機でコール統計を表示する方法に関するタスクが追加されました	コール統計のコールレコードを表示する (32 ページ)
トピックが更新され、電話機のウェブページでパスワードを設定する方法について説明が追加されました	パスワードの設定 (113 ページ)
電話機のウェブページからパスワードを設定する方法に関するタスクが追加されました	電話機のウェブページからのパスワードの設定 (113 ページ)
トピックが更新され、HTTP プロキシが追加されました	電話機の Web ページ (17 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
HTTP プロキシ機能のトピックが追加されました	[HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)] (106 ページ) 自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ (106 ページ) 手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ (106 ページ) 電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ (107 ページ)
Webex ディレクトリサポートのトピックを追加	Webex ディレクトリ (63 ページ) Webex ディレクトリにて連絡先を検索 (63 ページ) すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索 (65 ページ) Webex ディレクトリ名の編集 (66 ページ)
Webex 通話記録のサポートに関するトピックが更新されました	最近の通話履歴を表示する (85 ページ) サーバーからの通話履歴を表示 (89 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(6) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
すべての サービスの転送を呼び出すセットアップの新しい機能のアクセス許可のみについてのトピックを更新しました	コールの転送 (46 ページ)
	電話機の Web ページによるコール転送 (47 ページ)
	機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する (48 ページ)
電話機からのコール転送 (99 ページ)	
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能のいくつかの手順を更新しました。	の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)
関連トピックリンクを追加するためにトピックを更新	LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (75 ページ)
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいタスクを追加しました。	LDAP ディレクトリの連絡先に電話する (76 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(5) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいタスクを追加しました。	LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集 (77 ページ)
XML ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいトピックを追加しました。	XML ディレクトリ (78 ページ)
	XML ディレクトリの連絡先に電話する (78 ページ)
	XML ディレクトリの連絡先番号の編集 (79 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(5) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
MIC 証明書のステータスを確認する方法に関するタスクを追加	MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索 (37 ページ)
STIR/SHAKEN をサポートするようにトピックを更新	最近の通話リスト (85 ページ)
STIR/SHAKEN に対応する新しいアイコンを紹介するトピックを更新	最近の通話履歴を表示する (85 ページ)
シングルステップ移行に使用されるライセンスタイプの検索をサポートするタスクを追加	移行ライセンスタイプの検索 (36 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(4) の新機能および変更された機能

このリリースは、このガイドへの影響はありません。

ファームウェア リリース 11.3(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
トピック内の連絡先を追加する方法の手順を更新しました	の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)
トピックの 1 つの前提条件と個人用アドレス帳に連絡先を追加するもう 1 つの方法を追加しました	個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (80 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を追加、編集、および削除する方法についてトピックを追加しました	BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する (69 ページ)
連絡先を追加する新しい手順でトピックを更新しました	通話履歴レコードからの連絡先の作成 (90 ページ)
電話機での匿名通話をブロックする内容でトピックを更新しました	非通知着信の拒否 (103 ページ)
電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にするトピックを追加しました	電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする (102 ページ)
電話機でのコール待機を有効にするトピックを追加しました	コール待機を有効にする (104 ページ)
電話機の Web ページからコール待機を有効にするトピックを追加しました	電話機の Web ページからコール待機を有効にする (103 ページ)
トピックを更新し、新しいメニューテキストボックス [利用不可 (Unavailability)] に言及しました	コールセンターエージェントとしてのステータス変更 (57 ページ)
通話履歴リストの新しいソフトキーについてトピックを更新しました	最近の通話履歴を表示する (85 ページ)
トピックを更新し、新しいメニュー項目を追加しました	電話機についての情報を取得する (28 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(2) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
電話機のメニューにユーザー認証制御のトピックを追加しました。	ユーザー認証制御 (14 ページ)
アクティベーション コード同期を含むトピックが追加されました。	機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する (48 ページ)
ローカルディレクトリの名前の逆引き参照に関する情報を含めるように既存のタスクを更新しました。	サーバーからの通話履歴を表示 (89 ページ)
電話機の設定の概要説明が追加されました。	電話設定の概要 (98 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
ディレクトリ関連のタスクを更新しました。	<p data-bbox="943 296 1482 363">の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)</p> <p data-bbox="943 386 1482 453">個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (80 ページ)</p> <p data-bbox="943 476 1482 543">電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加 (81 ページ)</p> <p data-bbox="943 567 1482 634">個人用アドレス帳の連絡先へのコール (82 ページ)</p> <p data-bbox="943 657 1482 724">個人用アドレス帳の連絡先の編集 (82 ページ)</p> <p data-bbox="943 747 1482 814">個人用アドレス帳から連絡先を削除する (83 ページ)</p>

改訂	新規および変更されたセクション
ディレクトリ機能拡張機能のタスクを更新しました	<p>の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 (67 ページ)</p> <p>BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集 (68 ページ)</p> <p>BroadSoft ディレクトリ名の編集 (71 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集 (72 ページ)</p> <p>のログイン情報のユーザID編集 (72 ページ)</p> <p>LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (75 ページ)</p> <p>IMおよびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信 (53 ページ)</p> <p>プレゼンス状態の変更 (53 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (80 ページ)</p> <p>電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加 (81 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳での連絡先の検索 (81 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先へのコール (82 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先の編集 (82 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳から連絡先を削除する (83 ページ)</p>
電話機からの通話の転送方法に関するタスクを更新	電話機からのコール転送 (99 ページ)
電話機の web ページによるコールの転送方法のタスク追加	電話機の Web ページによるコール転送 (47 ページ)
LDAPディレクトリにアクセスするためのユーザログイン情報の編集用トピックの追加	LDAP ディレクトリのログイン情報の編集 (74 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
タスクを更新して、ユーザのログイン情報が含まれるようにしました。	LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (75 ページ)
LDAP キャッシュメカニズムを紹介または言及するようトピックを更新しました。	LDAP ディレクトリ (74 ページ) LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (75 ページ)
さまざまなユーザーのログイン情報に関する情報を含むため、タスクを新しいものに変更しました。	LDAP ディレクトリのログイン情報の編集 (74 ページ)
既存のトピックを更新して、ACDステータスの同期が含まれるようにします。	コールセンター機能 (56 ページ)
コールセンターオペレーターのステータスを確認するためにトピックを更新しました。	コールセンターエージェントとしてのサインイン (56 ページ)

ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
短時間のアクティベーションコードを使用した自動プロビジョニングをサポートするタスクが新規追加されました。	短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする (14 ページ)
電話画面のディスプレイ UDI 機能をサポートするよう既存のタスクが更新されました	電話機についての情報を取得する (28 ページ)
プロビジョニングが失敗した場合の有用性向上メッセージをサポートするタスクが新規追加されました	電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する (36 ページ)

ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能

改訂	新規または変更されたセクション
アクティベーションコードを使用して電話機を取得するための新しいタスクを追加。	アクティベーションコードで電話を搭載する (13 ページ)
電話機のキーパッド文字をサポートするトピックを新規追加しました。	電話機のキーパッド文字 (21 ページ)

ファームウェア リリース 11.2(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
複数のディレクトリでの連絡先検索に関する新しいタスクを追加しました。	の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)
SIP 資格情報またはログイン資格情報での再同期プロファイルをサポートするための、プロファイルアカウント設定に関するトピックを更新しました。	プロフィールアカウントのセットアップ (114 ページ)

ファームウェア リリース 11.2(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規または変更されたセクション
BroadWorks XSI ユーザ向けの複数の場所 (エニウェア) に対応する新しいトピックを追加	BroadWorks XSI ユーザー用に複数のロケーションを追加 (114 ページ)
XSI コールログ改善に関する新しい [次から最近のものを表示 (Display recents from)] オプションを含めてトピックを更新	最近の通話履歴を表示する (85 ページ)
XSI コール ログ改善に関する新しいトピックを追加	サーバーからの通話履歴を表示 (89 ページ)
XSI コール ログ改善に関する新しい [欠損 (Missed)] ソフトキーを含めてトピックを更新	最近の通話履歴に戻る (89 ページ)
非選択回線の DND および転送通知に関する新規トピックを追加	着信通話を無音にする (43 ページ)
非選択回線の DND および転送通知に対応する、転送および DND 用アイコンのトピックを更新	コールの転送 (46 ページ) 応答不可をオンにする (44 ページ)
XSI 発信者 ID ブロックに関するトピックを更新	発信者 ID のブロック (103 ページ)
HTTP 認証チャレンジでのユーザ名およびパスワードコレクションに関する新規トピックを追加	プロフィールアカウントのセットアップ (114 ページ)

改訂	新規または変更されたセクション
ハンドセットとヘッドセット用のオーディオ（アコースティック オーディオ）をカスタマイズするためのオーディオ イコライザに関する、着信音設定用のメニュー ナビゲーションを更新	呼出音の変更 （98 ページ）
スクリーンセイバー タイプのロック削除に関するトピックを更新	スクリーンセーバーの変更 （110 ページ）

ファームウェア リリース 11.1(2) の新機能および変更された機能

機能	新規または変更されたセクション
緊急コール サポート	緊急コールの発信 （40 ページ）
名前の逆引きルックアップ 管理者がこの機能を有効および無効にします	着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ （83 ページ）

電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

会議用電話への給電方法

会議用電話には、次のいずれかの電源からの給電が必要です。

- LAN 経由の Power over Ethernet (PoE)。

PoE を使用する場合、イーサネット ケーブルを LAN ポートに接続し、電話機に他端を接続します。

- Cisco IP 電話パワー インジェクタ。

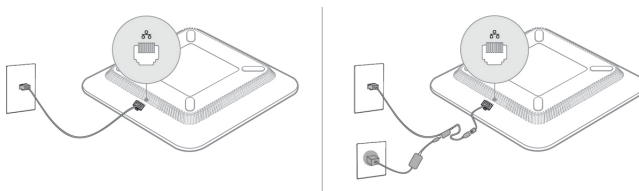
Cisco Unified IP Phone パワー インジェクタを使用する場合は、1 本のイーサネット ケーブルを使用してインジェクタを LAN ポートに接続します。電源コードをインジェクターに接続し、コードを電源コンセントに差し込みます。別のイーサネット ケーブルを使用して、インジェクタを会議電話に接続します。

EU および英国では、AC-DC 電源を使用する際に電話機に電力を供給するために必要な電源スイッチケーブルが電話機に同梱されています。この場合、まず 1 本の Ethernet ケーブルを使用して Power Injector を LAN ポートに接続します。電源スイッチ ケーブルをインジェクターに接続します。次に、電源コードを電源スイッチ ケーブルのもう一方の端に

接続します。次にコードを電源コンセントに差し込みます。別のイーサネットケーブルを使用して、インジェクタを会議電話に接続します。

次の図は、PoEおよびパワーインジェクタ電源オプションのおおよその接続を示しています。

図 1: 会議用電話の電源オプション



ネットワークに接続する

電話機を電話ネットワークに接続する必要があります。

- 有線接続：イーサネットケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

アクティベーションコードで電話を搭載する

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

始める前に

管理者は、XXXX-XXXX-XXXX-XXXX の形式で、16桁のアクティベーションコードを提供します。

手順

-
- ステップ 1** [開始 (Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。コードを入力する際に、ハイフン (-) を入力する必要はありません。
 - ステップ 2** [続行 (Continue)] を押します。
電話機は、オンボードプロセスを自動的に完了します。
 - ステップ 3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に新しいコードを問い合わせてください。
-

短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

始める前に

管理者は、次のアクティベーションコードを提供します。

手順

-
- ステップ 1** ポンド記号（#）を押し、[開始 (Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。
 - ステップ 2** [続行 (Continue)] を押します。
電話機は、プロビジョニングプロセスを自動的に完了します。
 - ステップ 3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に問い合わせてください。
-

ユーザー認証制御

管理者は、電話機のメニューにアクセスするために認証を要求するかどうかを設定できます。管理者は、すべての電話メニューにアクセスできるようにするには、認証をカスタマイズして無効にすることもできます。

この機能を使用する場合、電話メニューで認証を必要とするかどうかは、管理者によって制御されます。管理者がメニューにアクセスするための認証を設定している場合は、パスワードを入力し、ログインしてメニューにアクセスする必要があります。

別の電話機からの内線へのサインイン（エクステンションモビリティ）

エクステンションモビリティが設定されている場合は、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、自分の電話と同じように操作することができます。ログイン後、電話機は個人の電話番号を使用します。

始める前に

管理者はプロビジョニング権限を設定します。

手順

ステップ1 [サインイン (Sign in)] を押します。

ステップ2 ユーザ名とパスワードを入力し、[サインイン (Sign in)] を押します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の2種類の入力方法を使用できます。パスワードを入力する際、電話機に[オプション (Options)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更します。英数字で入力する場合は[すべて入力 (Input all)] を選択し、数字を入力する場合は[数字の入力 (Input num)] を選択します。管理者は、電話機の Web ページでパスワードの入力方法を設定します。

ステップ3 内線からサインアウトするには、[サインアウト (Sign out)] を押します。

電話でユーザーパスワードを作成する

管理者は、工場出荷時の状態へのリセット後に電話を再起動するたびに、[パスワードの設定 (Set password)] 通知画面のプロンプトを表示するようにしています。この機能により、電話のセキュリティが強化されます。

手順

ステップ1 次のいずれかを実行します。

- 工場出荷時の状態へのリセット後、電話が再起動し、[パスワードの設定 (Set password)] プロンプトが表示されます。
- を押します

- [状況 (Status)] > [問題 (Issues)] を選択します。電話にユーザーパスワードが作成されていない場合、「ユーザーパスワードがありません」のメッセージが表示され、「ユーザーパスワードがありません」画面にアクセスする[選択 (Select)] ソフトキーが表示されます。

電話にユーザーパスワードがある場合は、[問題 (Issues)] メニューの値はなしと表示されます。

- [作成 (Create)] を押します。

ステップ2 [パスワードの設定 (Set password)] 画面で、新しいパスワードを[新しいパスワード (New password)] ボックスに設定します。

新しいパスワードを作成すると、電話画面にロック解除アイコンが表示されます。

ゲストとして電話機にサインインする

管理者が電話機でホテリングを有効にしている場合、電話機にゲストアカウントがあります。ネットワーク内の別の電話機にゲストとしてサインインすることができます。

手順

ステップ 1 [サインイン (**Sign in**)] を押します。

ステップ 2 ユーザー ID とパスワードを入力します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の 2 種類の入力方法を使用します。パスワードを入力する際、電話機に [オプション (**Options**)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更できます。英数字で入力する場合は [すべて入力 (**Input all**)] を選択し、数字を入力する場合は [数字の入力 (**Input num**)] を選択します。

ステップ 3 [保存] を押します。



(注) 管理者は、緊急コールを発信するように電話機をセットアップできます。登録済み電話機にゲストとしてサインインすると、電話機は電話機の場所を取得する要求を転送します。緊急コールを発信する際、場所が緊急サービスに送信されます。

ゲストとして電話機からサインアウトする

手順

ステップ 1 [ゲストアウト (**Guest Out**)] を押します。

ステップ 2 [サインアウト (**Sign Out**)] を押します。

電話機でのプロフィール ルールの設定

手順

- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールルール (Profile rule)] を選択します。
- ステップ 3 電話のキーパッドを使用してプロフィールルールを入力します。
- ステップ 4 [再同期 (Resync)] を押します。

ホーム画面でのサービス中断メッセージ

Webex クラウドサーバーが利用できない場合、電話機のホーム画面にサービス中断通知が表示され、回線ステータスに生存性アイコンが表示されます。このような状況の場合、電話機は Site Survivability Gateway (SGW) に接続するので、少なくとも基本通話機能を使用できます。SGW サービスは、ローカルネットワークで展開されるので、電話機は、基本通話機能のみをサポートします。回線ステータスを確認すると、[中断 (Interrupted)] と表示されます。回線ステータスを表示するには、[回線ステータスを表示する \(32 ページ\)](#) を参照してください。

この問題が発生した場合は、管理者にお問い合わせください。

電話機の Web ページ

コンピュータからアクセス可能な電話機の Web ページで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。このページの URL、ユーザー ID およびパスワードは管理者から与えられます。

電話機の Web ページでは、電話機の機能、回線設定、および電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機の Web ページを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。電話機の Web ページを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。
呼出音	特定の回線に着信音を割り当てます。
パーソナルディレクトリの連絡先	電話機の Web ページでパーソナルディレクトリに連絡先を追加します。
HTTP プロキシ	電話機がインターネットに接続できるように HTTP プロキシをセットアップします。

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（桁）を入力します。短縮ダイヤル番号をセットアップする際には、発信に必要なすべての数字（桁）を短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のダイヤル番号を番号に追加することもできます。追加の数字（桁）の例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (*)
- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に 2 秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金コードの間に 1 つのコンマが必要です。

- 承認コードおよび追加の数字（桁）を含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、数字（桁）シーケンスを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみ、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加の数字（桁）は、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に[リダイヤル（Redial）]を押すと、電話機に必要な承認コード、課金コード、または追加の数字（桁）を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に発信するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は **95556543,1234,9876,,56789#** となります。

関連トピック

[電話機のキーパッド文字](#) (21 ページ)




Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア

次の図は Cisco IP 会議用電話 7832 です。

図 2: Cisco IP 会議用電話 7832 の各ボタンと機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832の各ボタンを示します。

1	ミュートバー	 マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクroフォンをミュートにすると、LEDバーが赤く点灯します。
2	LED バー	コール状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
3	ソフトキー ボタン	 機能とサービスにアクセスします。
4	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。 アイドル状態の電話機で、[上 (Up)] を押すと最近の通話リストにアクセスでき、[下 (Down)] を押すとお気に入りリストにアクセスできます。

5	音量 ボタン	 <p>スピーカーフォンの音量（オフフック）と着信音の音量（オンフック）を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>
---	--------	--

電話機のキーパッド文字

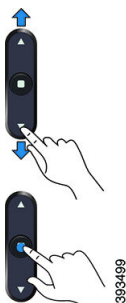
電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ(0)、アスタリスク(*)、およびシャープ(#)キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 1: キーパッドの特殊文字

キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/.@:;=?-_&%
0	(space),!^'
アスタリスク (*)	+*~`<>
シャープ (#)	#\$£□\(){}[]

会議用電話のメニュー操作

ナビゲーションバーを使用してメニューをスクロールできます。ナビゲーションバーの内側の [選択 (Select)] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

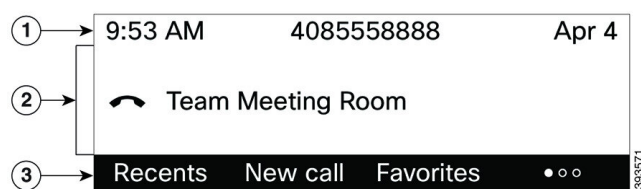
会議用電話のソフトキー

ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。

- ソフトキーが さらに多くのソフトキー機能が利用できることを意味することを示します。

会議用電話の画面

電話画面には、電話番号、アクティブコールのステータス、ソフトキーなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。



1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には現在の日時と電話番号が表示されます。
2	電話画面の中央にはコールまたは回線に関連する情報が表示されます。
3	画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。

電話画面のクリーニング

手順

電話機の画面が汚れた場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

注意

液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

省電力

管理者は、電話画面で、電話機を使用していないときに使用される電力量を減らすことができます。管理者が設定できる省エネのレベル：

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態のままだとバックライトや画面がオフになります。

電話機の電源を入れる

電話機が省エネのためにオフになっている場合、電話画面は空白になっていて、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Ciscoウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

- クイックスタートガイドおよびエンドユーザガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/products-licensing-information-listing.html>

アクセシビリティ機能

Cisco IP 会議用電話 7832 には、視覚障がい、聴覚障がい、および運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。これらの機能の多くが標準装備ですので、障がいを持つユーザーは特別な設定をせずにこれらの機能にアクセスできます。

このドキュメント内の「電話機のサポートページ」という用語は、ユーザーが特定の機能をセットアップするためにアクセスする Web ページを指します。Cisco Unified Communications Manager (リリース 10.0 以降) では、これらのページは、セルフケアポータルになっています。Cisco Unified Communications Manager (リリース 9.1 以前) では、これらのページはユーザーオプションの Web ページにあります。

詳細については、次の場所にある電話機のユーザーガイドを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html>

シスコでは、組織のニーズに合った、アクセシビリティ機能搭載の製品および技術の設計や提供に取り組んでいます。シスコおよびシスコによるアクセシビリティへの取り組みに関する詳細については、次の URL を参照してください。 <http://www.cisco.com/go/accessibility>

オンプレミス電話

会議用電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 3: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832 の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 2: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	<p>電話画面に現在の状態が表示され、LED バーは次の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
2	電話の状態およびメッセージ待機インジケータのビジュアル通知	<p>電話画面に現在の状態が表示されます。</p> <p>メッセージがあると、電話画面にメッセージが表示されます。また、電話には音声でのメッセージ待機インジケータも搭載されています。</p> <p>可聴ボイス メッセージインジケータを変更するには、セルフケアポータルにサインインし、メッセージインジケータの設定にアクセスします。ユーザは、設定のオンとオフを変更できます。管理者も設定を変更できます。</p>
3	調整可能な呼出音、音の間隔、および音量	<ul style="list-style-type: none"> • [設定 (Settings)] > [設定 (Preferences)] に順に選択し、呼出音を変更します。 • 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。コール中でない場合は、[音量 (Volume)] を押して、音量を調節します。 <p>音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>

視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

電話機には、少しの設定または設定不要で使用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。

図 4: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832の視覚障害者向けアクセシビリティ機能を示します。

表 3: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	[ミュート (Mute)]ボタン <ul style="list-style-type: none"> このボタンはLEDバーと画面の上にあります。 	[ミュート (Mute)]ボタンを使用してマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声がミュートになっているとき、LEDバーは赤色に点灯します。ミュートをオンにすると、電話機でピープ音が1回鳴り、ミュートをオフにすると、電話機でピープ音が2回鳴ります。
2	LEDバーによる着信コールの高コントラストの可視および可聴アラート <ul style="list-style-type: none"> LEDバーは、[ミュート (Mute)]ボタンと画面の間にあります。 	ユーザに着信を知らせます。着信中はLEDが点滅します。 色による電話のステータス表示： <ul style="list-style-type: none"> 緑、点灯：アクティブコール 緑（点滅）：着信コール 緑（速い点滅）：保留中のコール 赤、点灯：ミュート中のコール
3	Cisco IP 電話のコントラストを調節可能なバックライト付きグレースケールLCD画面	電話画面のコントラストを調整できます。

項目	アクセシビリティ機能	説明
4	ソフトキー <ul style="list-style-type: none"> • LCD のすぐ下にあるボタンです。 	特別な機能にアクセスできます。LCD に機能が表示されます。
5	ナビゲーションクラスタ (ナビゲーションバーと[選択 (Select)]ボタンを含む) <ul style="list-style-type: none"> • ナビゲーションクラスタはキーパッドの右にあります。 	ナビゲーションバーを使用して電話機の LCD で上下に移動できます。[選択 (Select)]ボタンはナビゲーションバーの中央にあります。
6	標準の 12 キー レイアウト	既存または使い慣れているキーポジションを使用できます。5 番キーには突起が付いています。
7	音量 キー <ul style="list-style-type: none"> • このキーは、キーパッドの左側にあります。 	呼出音や音声の音量を調節できます。 音量を上げる場合はロッカーキーの上側を押します。音量を下げる場合はロッカーキーの下側を押します。 音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。

Cisco IP 会議用電話 7832

会議用電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 5: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832 の運動障害者向けアクセシビリティ機能を示します。

表 4: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	電話機の状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
2	触覚認識によるボタンおよび機能（5 番キーにある突起を含む）	電話機のキーの位置が簡単にわかります。たとえば、5 番キーには突起があるため、これによって他のキーの位置がわかります。

サードパーティのアクセシビリティ アプリケーション

シスコは、パートナーと緊密に連携して、シスコ製品とソリューションのアクセシビリティとユーザビリティを補完するソリューションを提供しています。サードパーティ製のアプリケーションとして、Cisco IP 電話でのリアルタイム字幕生成、聴覚障がい者向けテキスト電話（TDD/TTY）、リアルタイムテキスト（RTT）、Hearing/Voice Carry Over（HCO/VCO）、音声による発信者番号通知、通話音量を上げるためのハンドセット用インラインアンプ、「話中ライト」、Cisco IP 電話によるオーディオ/ビジュアル緊急通知（障がいを持つユーザのサポート用）などがあります。

サードパーティ製アプリケーションの詳細については、管理者にお問い合わせください。

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

電話機についての情報を取得する

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

電話機には、すべての一意のデバイス識別子(UDI)情報が含まれています。UDIは、電話機に関連付けられた3つのデータ要素で構成されています。データ要素は次のとおりです。

- 製品ID(PID)
- バージョン ID (VID)
- シリアル番号(SN)

電話機の web インターフェイスにある [**Info > Status > Product Information**] に移動して、電話機に関する情報を検索することもできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product Information)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

製品名: Cisco IP 電話を表す名前。

[シリアル番号 (Serial number)] : Cisco IP 電話のシリアル番号。

[MACアドレス (MAC address)] : CiscoIP 電話のハードウェア アドレスです。

[ソフトウェアバージョン (Software version)] : CiscoIP 電話 ファームウェアのバージョン番号です。

[**Configuration version (設定バージョン)**] : Cisco IP 電話設定のバージョン番号。この情報は、管理者が有効にしている場合に表示されます。

[ハードウェアバージョン (Hardware version)] : CiscoIP 電話 ハードウェアのバージョン番号です。

[**VID**] : Cisco IP 電話のバージョン ID。

[**証明書 (Certificate)**] : ITSPネットワークでCisco IP 電話を使用できる事を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正しくインストールされているかどうかを示します。

[**カスタマイゼーション (Customization)**] : RCユニットについて、このフィールドはユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。[保留中 (Pending)] は、プロビジョニングの準備ができていない新しいRCユニットを示します。ユニットがすでにカスタマイズされたプロファイルを取得している場合、このフィールドにはカスタマイズ状態が[取得済み (Acquired)] として表示されます。

ステップ 3 [アプリケーション (Applications)] 画面に戻るには、[終了 (Exit)] を押します。

電話機でカスタマイズ状態を表示する

EDOS サーバからの RC のダウンロードが完了すると、画面上で電話機のカスタマイズ状態を表示できるようになります。

リモートカスタマイズ状態の説明は次のとおりです。

- [オープン (Open)] : 電話機が初めて起動し、設定されていません。
- [中断 (Aborted)] : リモートカスタマイズが、DHCP オプションなどの他のプロビジョニングのために中断されました。
- [待機中 (Pending)] : 電話機はプロファイルを EDOS サーバからダウンロードすることができません。
- [カスタム待機中 (Custom-Pending)] : 電話機が EDOS サーバからリダイレクト URL をダウンロードしました。
- [取得済み (Acquired)] : EDOS サーバからダウンロードされたプロファイルに、プロビジョニング設定のリダイレクト URL があります。プロビジョニングサーバからのリダイレクト URL のダウンロードが正常に完了した場合、この状態が示されます。
- [利用不可 (Unavailable)] : EDOS サーバが空のプロビジョニングファイルで応答し、HTTP 応答が 200 OK だったため、リモートカスタマイズが停止しました。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)]>[製品情報 (Product information)]>[カスタマイズ (Customization)]を選択します。

ステップ 3 [戻る (Back)]を押します。

ネットワークステータスを表示する

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)]>[ネットワークステータス (Network Status)]を選択します。

以下の情報を確認できます。

- [ネットワークタイプ (Network type)] : 電話機で使用するローカルエリアネットワーク (LAN) 接続のタイプを示します。
- [ネットワークステータス (Network status)] : 電話機がネットワークに接続されているかどうかを示します。
- IPv4 ステータス - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。

- **IPv6 ステータス** - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- **VLAN ID** - 電話機の VLAN ID。
- **[MAC アドレス (MAC address)]** : 電話機固有のメディアアクセスコントロール (MAC) アドレス。
- **[ホスト名 (Host name)]** : 電話機に割り当てられた現在のホスト名が表示されます。
- **ドメイン** - 電話機のネットワークドメイン名を表示します。デフォルト : cisco.com
- **[スイッチポートリンク (Switch port link)]** : スwitchポートのステータス。
- **[スイッチポート設定 (Switch port config)]** : ネットワークポートの速度とデュプレックスを示します。

電話機のステータスを表示する

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- **[経過時間 (Elapsed time)]** : システムを前回再起動してから経過した時間の合計。
- **[Tx (パケット) (Tx (Packets))]** : 電話機から送信されたパケット。
- **[Rx (パケット) (Rx (Packets))]** : 電話機で受信されたパケット。

電話機でステータスメッセージを表示する

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [ステータスメッセージ (Status messages)] を選択します。

プロビジョニングが最後に実行されてからの、さまざまな電話ステータスのログを表示できます。

(注)
ステータスメッセージはUTC時間を反映し、電話機のタイムゾーン設定の影響を受けません。

ステップ3 [戻る (Back)]を押します。

回線ステータスを表示する

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)]>[電話ステータス (Phone status)]>[回線ステータス (Line status)]
を選択します。

電話機の各回線のステータスを表示できます。

コール統計のコールレコードを表示する

各通話レコードには、詳細を確認できる追加情報が含まれています。このトピックで説明されている手順に従って、最近の通話レコードの詳細情報を確認してください。

始める前に

電話機にサインインすると、[コール統計 (Call statistics)]メニューにアクセスできます。

メイン画面の右上隅にロックアイコンが表示されている場合は、まだ電話機にサインインしていません。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)]>[電話のステータス (Phone Status)]>[コール統計 (Call statistics)]
を選択します。

ステップ3 (任意) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力し、[サインイン (Signin)]を押します。

電話機にサインインできない場合は、管理者にお問い合わせください。

ステップ4 リストからコール統計エントリを強調表示し、[選択 (Select)]を押します。

ナビゲーションクラスタの[選択 (Select)]ボタンを押して、強調表示されたエントリの詳細を表示することもできます。

以下の情報を確認できます。

- [通話タイプ (Call type)] : 発信コールまたは着信コール。
- [ピア名 (Peer name)] : コールを行った人またはコールに応答した人の名前。
- [ピア電話 (Peer phone)] : コールを行った人またはコールに応答した人の電話番号。
- [エンコードコーデック (Encode codec)] : 発信オーディオを圧縮するための手段。
- [コーデックのデコード (Decode codec)] : 着信オーディオを圧縮解除するための手段。
- [コール時刻 (Call time)] : コールが行われた時刻またはコールに応答した時刻。
- [コール ID (Call ID)] : 発信者の ID。

コール統計には、カウンタ、統計、音声品質メトリックなどの追加情報が含まれている場合があります。このような情報はトラブルシューティングに活用できます。

関連トピック

- [別の電話機からの内線へのサインイン \(エクステンション モビリティ\)](#) (14 ページ)
- [ゲストとして電話機にサインインする](#) (16 ページ)
- [コールセンター エージェントとしてのサインイン](#) (56 ページ)
- [プロフィールアカウントのセットアップ](#) (114 ページ)
- [パスワードの設定](#) (113 ページ)

802.1X トランザクションステータスの表示

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ネットワークの設定 (Network configuration)]> [イーサネットの設定 (Ethernet configuration)]> [802.1X 認証 (802.1X authentication)]> [トランザクションステータス (Transaction status)]を選択します。

以下の情報を確認できます。

- トランザクションステータス (Transaction status)
 - Protocol (プロトコル)
-

リポート履歴を表示する

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [再起動履歴 (Reboot history)] を選択します。

電話機が再起動したときに、その理由を問わず、いつでも日時の詳細を表示できます。

Cisco MPP デバイスの電話機の問題をすべて報告する

エラー レポート ツール (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告することができます。

始める前に

管理者は、Web サーバで電話機を有効にします。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [問題を報告 (Report problem)] を選択します。

ステップ 3 [問題の発生日付 (Date of problem)] フィールドに、問題が発生した日付を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の日時が表示されます。

ステップ 4 [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した時刻を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の時刻が表示されます。

ステップ 5 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。

ステップ 6 表示されるリストから説明を選択します。

ステップ 7 [送信 (Submit)] を押します。

(注)

管理者が電話機の Web サーバを無効にした場合、電話機はサーバに問題レポートをアップロードできません。また、電話の画面には、エラー: 109 または問題のレポートと利用できないダウンロードリンクが表示されます。この問題を解決するには、管理者にお問い合わせください。

サーバーから工場出荷時の状態へリセットする

管理者がサーバーから電話を工場出荷時の状態へのリセットしたときに、電話を製造元の設定に復元できます。電話機をリセットした後に、再設定できます。

管理者が電話を工場出荷時の状態へのリセットすると、電話画面には次の通知が表示されます。

- 電話がアイドル状態でアクティブコールがない場合、または電話がアップグレード中でない場合は、「**管理者からの要求により、工場出荷時の状態にリセットしています**」のメッセージが表示されます。その後、電話は工場出荷時の状態へのリセットを完了するために再起動されます。
- 電話がアクティブコールで通話中の場合、または電話がアップグレード中の場合は、「**管理者からの要求により、電話機はアイドル時に工場出荷時の状態にリセットされます**」のメッセージを表示します。電話がアイドル状態になると、「**管理者からの要求により、工場出荷時の状態にリセットしています**」が表示されます。その後、工場出荷時の状態へのリセットを完了するために電話が再起動されます。

電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する

電話機が機能しない場合や登録されていない場合、ネットワークエラーまたは不良構成が原因である可能性があります。原因を特定するには、特定の IP アドレスまたはドメイン名を電話機の管理ページに追加します。追加後にアクセスし、電話機から宛先に ping して原因を確認することができます。

手順

サポートされている Web ブラウザで、電話機の IP アドレスと ping する宛先 IP で構成される URL を入力します。URL は、次の形式で入力してください。

`http://<Phone IP>/admin/ping?<ping destination>`。次の意味があります。

`<Phone IP>` = 電話機の実際の IP アドレスです。

`/admin` = 電話機の管理ページにアクセスするためのパスです。

`<ping destination>` = ping を実行する任意の IP アドレスまたはドメイン名。

ping の宛先に使用できるのは、英数字、「-」および「_」（下線）のみです。それ以外を使用すると、電話機の Web ページにエラーが表示されます。<ping destination> にスペースが含まれている場合、電話機はアドレスの最初の部分のみを ping の宛先として使用します。

たとえば、192.168.1.1 のアドレスに ping する場合、次のようになります。

`http://<Phone IP>/admin/ping?192.168.1.1`

電話機の接続を切断する

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

電話機の登録について詳しくは、[電話機の手動登録](#)を参照してください。

電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する

電話機にメッセージが表示された場合は、プロビジョニング設定を確認するか、サービス プロバイダーに連絡してください。、設定に問題があります。このメッセージは、電話機が起動した直後にしか表示されません。電話機がコールサーバに登録されていても、このメッセージは表示されません。

このメッセージは、すべての MPP 電話機に適用されます。

手順

ステップ 1 次のオプションのいずれかを選びます。

- **詳細:** ステータス メッセージのリストを表示します。
- **[キャンセル (Cancel)]:** メインの電話画面に戻ります。

(注)

プロビジョニングアラートをキャンセルした場合、電話機が再起動されるまで、電話機は別のプロビジョニングアラートを表示しません。

ステップ 2 該当するステータスメッセージをリストから選択し、次のオプションのいずれかを押します。

- **[詳細 (Details)]:** ステータス メッセージ全体を表示します。
- **[クリア (Clear)]** メッセージの完全なリストを削除します。

ステップ 3 この問題を解決するには、管理者にお問い合わせください。管理者によってアクセスが許可されている場合は、電話機の web ページでもメッセージを表示できます。

電話機の web ページで、**[情報 > ダウンロード ステータス > プロビジョニング ステータス]**に移動します。

移行ライセンスタイプの検索

管理者は、マルチプラットフォームファームウェアへの移行に使用するライセンスタイプに関する情報を尋ねる場合があります。

手順

-
- ステップ 1** [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product Information)] を選択します。
- ステップ 3** [移行承認タイプ] フィールドで、使用されるライセンスタイプを表示します。
-

MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索

電話機の Web ページに更新ステータスと関連情報を表示して、Manufacture Installed Certificate (MIC; 製造元インストールされる証明書) の更新が完了したかを確認できます。管理者は、電話機のトラブルシューティング中にこの情報についてユーザに尋ねる場合があります。

始める前に

- 管理者から電話の Web ページへのアクセスが許可されました。
- 管理者は、ご使用の電話機で Manufacture Installed Certificate (MIC; 製造元インストールされる証明書) の更新をアクティブ化します。

手順

-
- ステップ 1** 電話機の Web ページで、**情報 > ダウンロードステータス** をクリックします。
- ステップ 2** **MIC 証明書更新ステータス** セクションから情報を検索します。
- **MIC 証明書ステータス** : このフィールドには、実行した証明書更新の日時、HTTP リクエスト URL、および結果メッセージが含まれます。
 - **MIC 証明書情報** : このフィールドには、証明書更新手順の全体ステータスが表示されません。通常、電話機の MIC 証明書が正常に更新されたかどうかを示します。

詳細については、管理者に連絡してください。

Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、[製品保証](#)で提供しています。



第 2 章

コール (Calls)

- コールの発信 (39 ページ)
- コールへの応答 (42 ページ)
- コールのミュート (45 ページ)
- コールの保留 (45 ページ)
- コールの転送 (46 ページ)
- 通話の転送 (49 ページ)
- 電話会議とミーティング (50 ページ)
- 通話の録音 (52 ページ)
- インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先 (52 ページ)
- 電話機のグループのページング (マルチキャストページング) (54 ページ)
- XML アプリケーションとマルチキャストページング (55 ページ)
- XML アプリケーションの詳細を表示する (55 ページ)
- コールセンター機能 (56 ページ)

コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

コールの発信

お使いの電話機を他の電話機と同じように使用して電話します。

手順

電話番号を入力して、**[通話 (Call)]** を押します。

[自動的にラインキーに折りたたむ (Auto Collapse Into Line Key)] パラメータが有効になっている場合、アクティブコールウィンドウが最小化され、着信側の名前、番号、通話時間、通話

状態などのコールセッション情報、そしてセキュリティ保護された通話や通話録音などの特別なアイコンは回線ラベル自体に表示されます。

フルスクリーンの通話ウィンドウを表示するには、ラインキーを押します。

緊急コールの発信

他のコールと同じように電話機を使用して緊急コールを発信します。緊急番号にダイヤルすると、ユーザをサポートするために緊急サービスによって電話番号と場所が取得されます。



(注) コールが切断されると、緊急サービスからユーザに電話をかけなおすことができます。

始める前に

物理的な場所を取得するように電話機をセットアップする必要があります。緊急サービス担当者は、緊急コールを発信する際にユーザがいる場所を知っている必要があります。

手順

緊急番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

手順

ステップ 1 [リダイヤル (Redial)] を押します。

(注)

Webex Calling の場合、[ローカル通話 (Local Call)] の履歴がワークスペースのデバイスに設定されている場合、または FAC *66 を使用している場合に、ワークスペースでリダイヤルがサポートされます。

デフォルトでは、[リダイヤル (Redial)] ソフトキーが電話機の画面に表示されません。設定するには、管理者に連絡してください。

ステップ 2 [発呼 (Placed calls)] リストから通話記録を選択して、連絡先を選択し、[コール (call)] を選択します。

[発信履歴 (Placed calls)]リストには、[情報と設定 (Information and settings)]>[通話履歴 (Recents)]>[発信履歴 (Placed calls)]からアクセスすることもできます。

スピードダイヤル

短縮ダイヤルでは、ボタンを押し、事前に設定したコードを入力するかまたは電話機の画面項目を選択すると発信できます。短縮ダイヤルは電話画面と、電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤルコードを編集、削除、および承認できます。

電話機の画面から短縮ダイヤルコードを割り当てる

電話画面から短縮ダイヤルのインデックスを設定できます。また、電話機の Web ページから短縮ダイヤルコードを割り当てることもできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed Dials)]を選択します。

ステップ 3 割り当てられていない短縮ダイヤルのインデックスまでスクロールします。

ステップ 4 [編集 (Edit)]を押して、次のいずれかを実行します：

- 名前と番号を入力します。
- [オプション (Option)]>[連絡先から追加 (Add from contacts)]を選択して、アドレス帳から連絡先を選択します。

ステップ 5 [保存]を押します。

短縮ダイヤルコードを使用して発信

始める前に

電話機のウェブページまたは電話機の画面から、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

手順

短縮ダイヤルコードを入力し、[コール (Call)]を押します。

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

ステップ1 アスタリスク (*) を 1 秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

ステップ2 電話番号を入力します。

ステップ3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。

安全なコール

電話機はすべてのコールを暗号化して、コールを保護します。ロックアイコンは、すべてのセキュアコールにて電話機の画面に表示されます。

また、電話機のパスワードを設定して、不正なアクセスを制限することもできます。

コールへの応答

Cisco IP 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに応答する

手順

[応答 (Answer)] を押します。

会議用電話でコール ウェイティングへ応答する

アクティブ コール中に別のコールがあると、ビープ音が 1 回鳴り、会議用電話の画面にメッセージが表示されます。

手順

[応答 (Answer)]を押します。

コールの拒否

アクティブ コールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメール システムや設定済み電話番号に送信できます。

手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- [拒否 (Decline)]を押します。
 - 複数の着信がある場合、該当の着信を強調表示して、[拒否 (Decline)]を押します。
-

着信通話を無音にする

忙しく仕事が中断されたくない場合には、着信通話をサイレント状態にすることができます。電話は鳴らなくなりますが、視覚的なアラートが表示されて着信通話に応答することができます。

始める前に


管理者は、あなたの電話機の [無視 (Ignore)] ソフトキーを設定します。

手順


いずれかの方法で、着信通話をサイレント状態にします。

- [無視 (Ignore)] ソフトキーを押します。このソフトキーを押すと、ソフトキーは電話機の画面から消え、次の着信通話で再び表示されます。



- 音量  ボタンを下に押します。このボタンを再度押すと、着信音の音量が下がります。




- 音量  ボタンを下に押します。このボタンを再度押すと、着信音の音量が下がります。次の着信通話時にリンガの音量が元に戻ります。

応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。ただし、DND がオンになっていてもページングコールと緊急通話は常に受信します。

DND を有効にすると、着信コールがボイスメールなどの別の番号 (セットアップされている場合) に転送されます。

DND がオンの場合、電話画面の上部のバーに [応答不可 (Do not disturb)] と表示されます。

ラインキーで機能キーの同期と DND が有効になっている場合、DND アイコン  はラインキーラベルの横に表示されます。

始める前に

管理者は電話機の **DND/Clr DND** ソフトキーを有効にします。

手順

ステップ 1 サイレントをオンにするには、[サイレント (DND)] を押します。

もし **DND** ソフトキーが電話画面にグレー表示されている場合は、管理者に連絡してください。

ステップ 2 DND をオフにするには、[DND の無効化 (Clr DND)] を押します。

スターコードを使用して DND をオンまたはオフにします

電話機用に設定されたそれぞれのスターコードをダイヤルすることによって、妨害防止機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、電話機の Web ページの [DND 有効化コード (DND Act Code)] フィールドと [DND 無効化コード (DND Deact Code)] フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

手順


ステップ 1 DND をオンにするには、管理者から提供されたスターコードをダイヤルします。

ステップ2 DNDをオフにするには、管理者に提供されたスターコードをダイヤルします。

コールのミュート

通話中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

手順

ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。

ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

コールを保留にする

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。

手順

ステップ1 [保留 (Hold)] ボタンを押す。

ステップ2 保留中の通話を再開するには、[再開 (Resume)] を押します。

長時間にわたって保留されているコールに応答する

電話機は、長時間コールを保留している場合に知らせるキューを提供するように設定されています。

- 点滅するLEDバー
- 電話画面上の視覚的な通知
- 保留リマインダが電話機の Web ページで設定されている場合の電話機での着信通知

手順

保留中の通話を再開するには[応答 (Answer)]を押します。


アクティブ通話と保留通話の切り替え

アクティブコールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。

手順

[切替 (Swap)]を押して、保留コールに切り替えます。

コールの転送

機能キー同期および通話転送が設定された回線が有効な場合、通話転送  アイコンがラインキーラベルの横に表示されます。

不在転送サービスには次の3つがあります。

- 不在転送 — すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
- 話中転送 — 話し中の時、着信通話を特定の電話番号に転送します。
- 応答なし転送 (Forward no answer) — コールが応答されない時、着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。

特定のソフトキーを使用して、コール転送サービスを設定できます。

手順

ステップ 1 [転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] を押します。

[不在転送 (Forward all)] が表示されている場合は、不在転送サービスのみを設定できます (話中転送サービスおよび無応答時転送サービスを除く)。ソフトキーを押した後、不在転送サービスを設定するためのメニューのみが表示されます。ステップ 3 に進みます。

[話中転送] および [応答なし転送] サービスを設定する場合は、[電話機からのコール転送 \(99 ページ\)](#) または [電話機の Web ページによるコール転送 \(47 ページ\)](#) を参照してください。

管理者が通話転送の同期を有効にしている場合、[不在転送設定 (Call forward settings)] 画面ではなく [全通話転送 (Call forward all)] 画面が表示されます。このシナリオでは、[機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する \(48 ページ\)](#) を参照してください。


ステップ 2 次のいずれかのコール転送サービスを選択します。

- 不在転送 (Forward all)
- 話中転送 (Forward busy)
- 無応答時転送 (Forward no answer)

ステップ 3 次のいずれかを行います:

- この電話回線から着信コールを転送する、転送先番号を入力します。
- [連絡先 (Contacts)] ソフトキーを押して、連絡先ディレクトリから連絡先を選択します。

ステップ 4 設定を押して、設定内容を適用します。

ステップ 5 コールが転送されていることを確認するには、回線または電話画面の上部にあるコール転送  アイコンを探します。

電話機の Web ページによるコール転送

電話機の Web ページを使用して、通話を転送するように電話機を設定できます。

また、通話転送も電話機の画面でセットアップできます。詳細については、[コールの転送 \(46 ページ\)](#) または [電話機からのコール転送 \(99 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

管理者は、通話転送サービスを有効にする必要があります。それ以外の場合、電話機のウェブページの設定は有効になりません。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** をクリックします。

ステップ 2 [コール転送 (Call Forward)] セクションで、[不在転送 (Cfwd All)]、[話中転送 (Cfwd Busy)]、[応答なし転送 (Cfwd No Answer)] を [はい (Yes)] に設定して、有効にする各通話転送サービス用の電話番号を入力します。

- **Cfwd All/Cfwd All Dest** : すべての通話を転送します。
- **Cfwd Busy/Cfwd Busy Dest** : 回線が話中の場合にのみ通話を転送します。
- **Cfwd No Answer/Cfwd No Ans Dest** : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。
- **Cfwd No Answer/Cfwd No Ans Delay** : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) および通話転送の XSI 同期を無効にした場合、コールが転送となるまでの時間を秒数として入力できます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) または通話転送用の XSI 同期を有効にした場合、コールが転送となるまでの呼出音の回数を入力できます。

電話機のウェブページの着信転送設定は、FKS と XSI が無効になっている場合にのみ有効になります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する

[転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] ソフトキーを押すと、[不在転送 (Call Forward All)] 画面が表示され、すべてのコールを転送するように電話機を設定できます。

始める前に

管理者は、電話機をサーバと同期させてすべての通話転送する機能アクティベーションコードを有効にします。



(注) 機能アクティベーションコード同期機能は、[すべて不在転送 (Call Forward All)] サービスのみをサポートします。話中転送および不在転送サービスはサポートされていません。

管理者が同期用の機能アクティベーションコードを有効にすると、[コール転送設定 (Call forward settings)] 画面は [準備完了 (Ready-only)] になります。

手順


ステップ 1 [転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] を押します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- この電話回線から着信コールを転送する、転送先番号を入力します。
- [連絡先 (Contacts)] を押して、連絡先ディレクトリから連絡先を選択します。
- [通話履歴 (Recents)] を押して、通話履歴からエントリを選択します。

ステップ 3 [コール (Call)] を押して、すべてのコールを指定された番号に転送します。

Clr fwd または **Clf fwd all** を押してコール転送設定を解除できます。

ステップ 4 コールが転送されていることを確認するには、回線または電話画面の上部にあるコール転送  アイコンを探します。

通話の転送

アクティブコールを別のの人に転送することができます。

管理者が、ラインアピランスごとに1コールのみのサポートを設定している場合、アクティブコールを転送するオプションは表示されません。

別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、通話から自分を切断する前に、相手と個人的に話す機会ができます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

手順

-
- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)] を押します。
 - ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力して、[コール (Call)] を押します。
 - ステップ 3** (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
 - ステップ 4** 再度 [転送 (Transfer)] を押します。
-

転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

管理者がラインアピランスごとに1つのコールのみをサポートするように設定しており、内線が1つだけ設定されている場合、次のことはできません。

- アクティブコールがある場合に、新しい通話を発信すること。
- アクティブコールがある場合に、転送すること。
- アクティブコールを電話会議にすること。

始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順

-
- ステップ 1** [転送 (Transfer)] を押します。

ステップ2 相手が応答すると、相手と話すことができます。

ステップ3 再度 [転送 (Transfer)] を押します。

電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

他の人をコールに追加する

手順

ステップ1 アクティブコールから、[会議 (Conference)] を押します。

ステップ2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール (Call)] を押します。

ステップ3 もう一度 [会議 (Conference)] を押します。

アドホック会議でホストである参加者を削除する

ホストユーザは参加者リストから参加者を削除できます。ホストと参加者は複数の参加者を会議に招待できますが、招待された参加者を削除できるのは、その参加者を招待した人のみです。たとえば、アドホック会議のホストであるユーザ A が、ユーザ B、ユーザ C、ユーザ D を会議に招待したとします。その場合、ユーザ A はユーザ B、ユーザ C、ユーザ D を削除できますが、仮にユーザ C がユーザ D を会議電話に招待した場合、ユーザ C によるユーザ D の削除は可能ですが、ユーザ A はユーザ D を削除できません。

始める前に

アドホック会議にホストとして参加します。

手順

ステップ1 アドホック会議で [参加者 (Participants)] を押して参加者名を表示します。

ステップ2 会議用電話に招待した参加者を選択し、[削除 (Remove)] を押します。

ステップ3 電話機に表示される削除のメッセージを確認します。

アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する

アドホック会議のホストであれば、参加者のリストを表示できます。

始める前に

[参加者 (Participants)] ソフトキーを利用できます。

手順

ステップ 1 回線から (たとえばユーザ A が) 電話をして応答を待ちます。

ステップ 2 [会議 (Conference)] を押して、別のユーザ (たとえばユーザ B) を会議に招待します。

ステップ 3 ユーザ B が通話に応答したた、再度 [会議 (Conference)] を押して、ユーザ B を会議にマージします。

同じ方法で、さらに参加者を会議に追加できます。

ステップ 4 [参加者 (Participants)] ソフトキーを押します。会議に参加している参加者全員の名前が [参加者 (Participants)] 画面に表示されます。

ステップ 5 (任意) [終了 (Exit)] を押と、[参加者 (Participants)] 画面から退出します。

参加者リストを参加者として表示する

アドホック会議の参加者の一覧を表示できます。

始める前に

[参加者 (Participants)] ソフトキーを利用できます。

手順

ステップ 1 ホスト側から通話に応答します。

ホストによって会議にマージされると、[参加者 (Participants)] ソフトキーが表示されます。

ステップ 2 [参加者 (Participants)] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。

ステップ 3 (任意) [終了 (Exit)] を押と、[参加者 (Participants)] 画面から退出します。

通話の録音

通話中に録音することが可能です。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

録音中、[コール (Calls)] 画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

表 5: 録音アイコン

アイコン	意味
	録音中
	録音の一時停止

始める前に

管理者は、電話機でのコールの録音を有効にします。

手順

-
- ステップ 1 アクティブ コール中に [録音 (Record)] を押します。
 - ステップ 2 (任意) 録音中に [録音の一時停止 (PauseRec)] を押すと、録音を一時停止できます。
 - ステップ 3 (任意) 録音を再開するには、[録音の再開 (ResumeRec)] を押します。
 - ステップ 4 (任意) 録音を停止するには、[録音の停止 (StopRec)] を押します。
 - ステップ 5 コールを終了するには、[通話終了 (End Call)] を押します。
-

インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先

インスタントメッセージおよびプレゼンス (IM&P) の連絡先には、それらのプレゼンス情報が表示されます。ユーザが利用可能、ビジー、利用不可能、または応答不可かどうかを確認できます。

連絡先のリストを管理するには、UC-One Communicator を使用します。電話機は、UC-One Communicator サーバから連絡先のリストを取得します。

電話機を使用すると、電話機は UC-One Communicator にステータス情報を送信します。

プレゼンス

会社で「UC-One Communicator」サービスを使用し、電話機とこのサービスを統合することができます。このサービスを使用すると、連絡先のステータスを表示できます。

自分のステータスは電話機のステータス行に表示されます。次のいずれかが表示されます。

- 応答可能
- 不在
- 取り込み中
- オフライン

「UC-One Communicator」サービスの詳細については、Broadsoftのドキュメントを参照してください。

IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信

IM&P の連絡先に含まれる相手にコールを発信する場合、相手のプレゼンス状態が通話履歴に表示されます。

始める前に

管理者が電話機の IM&P ディレクトリを有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 **IM&P 連絡先**を選択します。

ステップ 4 ディレクトリを選択します

ステップ 5 エントリを選択します。

エントリに連絡先のステータスが表示されます。

ステップ 6 (任意) 連絡先の詳細を表示するには [詳細 (Detail)] を押し、連絡先リストに戻るには [戻る (Back)] を押します。

ステップ 7 [通話]を押します。

プレゼンス状態の変更

電話機は常に利用可能なため、電話機でプレゼンスを手動設定する必要があります。

始める前に

管理者が電話機の IM&P ディレクトリを有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 **IM&P 連絡先**を選択します。

ステップ 4 ディレクトリをハイライトします。たとえば、**お気に入り**、**非グループ**、**すべての連絡先**などです。

ステップ 5 [プレゼンス (Presence)] を押します。

ステップ 6 リストからプレゼンスを選択します。

- [利用可能 (Available)] : 電話に出ることができます。
- [退席中 (Away)] : 短時間、電話機から離れています。
- [応答不可 (Do not disturb)] : 電話に出ません。
- [オフライン (Offline)] : 電話に出ることができません。通常、長時間電話機から離れるときにこのプレゼンスを使用します。

電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループ内では、お使いの電話機は、電話機システムの他のマルチプラットフォーム電話機からのページングに自動的に応答できます。各ページンググループには、それに関連付けられた固有の番号があります。管理者は、設定されたページンググループ番号を提供します。電話機がページングされると、短いビープ音が3回鳴ります。電話機が、あなたとあなたにコールした電話機の間で片通話を確立します。ページを承認する必要はありません。

手順

ページンググループの番号をダイヤルします。

XML アプリケーションとマルチキャストページング

ページンググループ XML アプリケーションが有効な場合、お使いの電話は、サーバーからマルチキャストページを受信すると、画像またはメッセージを表示します。ユニキャストおよびマルチキャストページングまたはブロードキャスト中に、ページンググループの電話は次の動作を示します。

- 電話（送信者）がページを開始し、XML アプリケーションメッセージを表示しません。
- 管理者がサービスを設定している場合、ページングが開始されると、ページを受信する電話（受信者）は画面に XML アプリケーションメッセージ（着信ページ）を表示します。
- タイムアウト（管理者が設定）または管理者により XML アプリケーションが閉じた場合、受信者には受信ページが表示されます。しかし、タイムアウトが設定されていない場合、ページングコールが終了すると、XML アプリケーションは終了します。

管理者は、マルチキャストページングから XML サービスを呼び出すことができます。


XML アプリケーションの詳細を表示する

お使いの電話がサポートする Cisco XML オブジェクトのリストを表示することができます。

始める前に

- 管理者が XML アプリケーションを設定しています。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 3 [情報と設定 (Information and settings)] 画面で、[XML アプリケーション (XML applications)] を選択します。

サポートされている Cisco XML オブジェクトのリストが表示されます。たとえば、**CiscoIPPhoneMenu**、**CiscoIPPhoneDirectory** などです。

(注)

[XML アプリケーション (XML applications)] メニューは、お使いの電話で管理者により無効にされている場合は利用できません。

コールセンター機能

管理者は、ご使用の電話機をコールセンターの電話機として設定します。

管理者は、電話機で自動着信呼分配 (ACD) 機能を有効にできます。この電話機は、コールセンターエージェントの電話機として機能し、顧客のコールをトレースする、緊急の場合に任意の顧客のコールをスーパーバイザにエスカレーションする、廃棄コードを使用して連絡先番号を分類する、顧客のコールの詳細を表示するなどのことができます。

電話機は、次のように ACD ステータスを持つことができます。

- サインイン
- サインアウト
- 応答可能
- 連絡不可能
- ラップアップ

初期の ACD ステータスは、次の 2 つの方法で管理者によって制御されます。

- 最後のローカルステータスは ACD の初期ステータスとして復元できます。電話機が起動すると、ステータスが「未登録」または「登録失敗」から「登録済み」に変更されます。
- ACD 初期ステータスは、サーバから取得できます。

コールセンターエージェントとしてのサインイン


コールセンターエージェントとしての業務を開始する準備ができたなら、電話機にサインインしてステータスを設定します。

管理者は、電話機にログインしたときにステータスが自動的に利用可能に設定されるように、電話機を設定することができます。この場合は、手動でステータスを設定する必要はありません。

手順

ステップ 1 [Agtサインイン (AgtSgnIn)] を押します。

ステップ 2 コールセンターエージェントとしてのステータスを確認します。

ステータスが利用可能な場合は、電話番号の横にアイコン  が表示されます。それ以外の場合は、次の手順を実行して、手動でステータスを設定します。

ステップ 3 [Agtステータス (Agt status)] を押します。

ステップ 4 [利用可能 (Available)] ステータスを強調表示します。

ステップ5 [選択 (Select)]を押します。

コールセンター エージェントとしてのサインアウト

コールセンター エージェントとしての業務を終了する準備ができたなら、ステータスを変更して電話機からサインアウトします。サインアウトすると、コールセンター コールを受信しません。

通話中にその通話が終了したらすぐにサインオフすることがわかっている場合、ステータスを [ラップアップ (Wrap-up)]に変更できます。

手順

[Agtサインアウト (AgtSgnOut)]を押します。

コールセンター エージェントとしてのステータス変更

往々にして、短い休憩が必要な場合があります。そのためには、ステータスを変更して、その通話により電話機の呼出音が鳴らないようにします。

手順

ステップ1 [Agtステータス (Agt status)]を押します。

ステップ2 [利用不可 (Unavailable)]ステータスを強調表示します。

[利用不可 (Unavailable)]メニューのテキストボックスを使用して、利用不可の理由を追加できます。

必要に応じて、管理者は電話機の Web インターフェイスから電話機のテキストボックスを非表示にできます。

ステップ3 [選択 (Select)]を押します。

ステップ4 [Agtステータス (Agt status)]を押します。

ステップ5 [利用可能 (Available)]ステータスを強調表示します。

ステップ6 [選択 (Select)]を押します。

ステップ7 [ラップアップ (Wrap-up)]ステータスを強調表示します。

ステップ8 [選択 (Select)]を押します。

コールセンターコールの受信

コールセンターエージェントとして電話機にサインインして、電話機のステータスが利用可能に設定されている場合、電話機はコールセンターコールを受信できます。コールに応答する前に、コールに関する情報が表示されます。

手順

-
- ステップ1 通話を受信すると、通話情報ページが表示されます。終了するには [戻る (Back)] を押し、受信するには [応答 (Answer)] を押します。
 - ステップ2 コールの詳細を表示するには、[コール情報 (Call Info)] を押します。
 - ステップ3 通話を終了するときには、[通話終了 (End call)] を押します。
-

エージェントコールの保留

コールセンターコール中に、発信者を保留したりコールに戻ったりすることができます。コールを長時間保留すると、電話画面でリマインダ音やリング スプラッシュが鳴ります。

手順

-
- ステップ1 [保留 (Hold)] ボタンを押す。
 - ステップ2 戻る準備ができたなら、保留中のコールを選択して [再開 (Resume)] を押します。
-

コールセンターコール中の処置コードの設定

廃棄コードをアクティブな顧客の通話、または通話の後で状態を [ラップアップ (Wrap-up)] に設定した後に割り当てる事ができます。廃棄コードは、通話を説明する通話レコードに適用される簡易ラベルです。これは、コールにラベルを付けて、コールに関する詳細を見落とさないよう顧客への連絡履歴を追跡する簡単な方法です。

始める前に

管理者は、電話機に処置コードを追加できます。

手順

-
- ステップ1 [廃棄コード (Disp Code)] を押す。

ステップ2 [OK]を押します。

コールをトレースする

アクティブ コールとエージェント ステータスで最後の着信コールをトレースできます。

始める前に

管理者は、電話機でコールのトレースを有効にします。

手順

アクティブ コールから、またはコール後に [トレース (Trace)] を押します。

スーパバイザへのコールのエスカレーション

コールのエスカレーションが必要な場合、ユーザや発信者とともにスーパバイザを電話会議に追加できます。

始める前に

管理者が電話機で緊急エスカレーションを有効にします。

手順

ステップ1 アクティブ コールから、[緊急 (Emergency)] を押します。

ステップ2 [緊急エスカレーション (Emergency Escalation)] ウィンドウで、[OK]をクリックします。

優先する緊急エスカレーション番号を入力できます。または、スーパバイザ設定がない場合は空のままにすることができます。緊急エスカレーション番号は表示されません。



第 3 章

連絡先

- の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (61 ページ)
- 社内ディレクトリ(Corporate Directory) (63 ページ)
- 個人用アドレス帳 (80 ページ)
- 着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ (83 ページ)

の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索

[すべてのディレクトリ (All directories)] は、連絡先のランディングページです。通常は、個人アドレス帳および Bluetooth 対応電話機から連絡先を自動的に取得します。

表示されているディレクトリに対象の連絡先が存在しない場合は、画面で手動検索を実行できます。検索範囲は、次のディレクトリをカバーします (有効な場合)。

- 個人用アドレス帳
- 次のサブディレクトリを含む BroadSoft ディレクトリ。
 - エンタープライズ
 - グループ (Group)
 - 個人データ(Personal)
 - 企業共通
 - グループ共通
- LDAP ディレクトリ

手動検索では、次の順序でディレクトリから連絡先の取得を試みます。

- 個人用アドレス帳
- BroadSoft ディレクトリ
- LDAP ディレクトリ



(注) 管理者は、アクセス可能なディレクトリを制御します。連絡先が無効なディレクトリにある場合は、そのエントリは検索結果に表示されません。

検索結果から、連絡先の詳細を表示したり、連絡先を発信、電話をかける前に番号を編集したりすることができます。管理者が電話機のパーソナルディレクトリを有効にしている場合は、パーソナルディレクトリに連絡先を追加することもできます。

始める前に

管理者は、すべてのディレクトリ検索を有効にする必要があります。それ以外の場合、すべてのディレクトリ画面は表示されません。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 ナビゲーションクラスタを使用して、画面にすでに表示されている連絡先を選択します。

画面に連絡先が見つからない場合は、次の手順に進みます。

ステップ 3 検索する連絡先の名前を入力します。

名前の任意の箇所に検索文字列を含む姓または名が検索されます。

キーワードを指定せずに連絡先を検索すると、電話機はすべての連絡先を取得します。

ステップ 4 [検索 (Search)] を押します。

検索結果には、名前の完全一致と部分一致の両方が表示されます。

デフォルトでは、電話機には連絡先のうち最大 50 のレコードが表示されます。管理者は、連絡先の最大数を設定できます。

ステップ 5 (任意) 連絡先の詳細を表示するには、検索結果内の連絡先を強調表示し、[詳細 (Details)] を押します。

ステップ 6 (任意) 電話機のターゲットディレクトリに連絡先を追加するには、次の手順を実行します。

a) 連絡先の詳細を表示しながら、[オプション (Option)] を押します。

b) [連絡先の追加 (Add Contact)] を選択します。

メニューラベルには、連絡先を追加するターゲットディレクトリが表示されます。

- [個人アドレスエントリの追加 (Add Personal address entry)] メニューが表示された場合は、連絡先をローカルの個人用アドレス帳に追加します。

- [BroadSoft 個人連絡先の追加 (Add BroadSoft Personal contact)] メニューが表示された場合は、連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加します。

管理者は、ターゲットディレクトリを変更できます。

[連絡先の追加 (Add Contact)]オプションが表示されない場合は、管理者に問い合わせてください。

- c) 連絡先の詳細を入力し、[保存 (Save)]を押します。

ステップ7 連絡先に電話をかけるには、次の手順を実行します。

- a) 検索結果で連絡先をハイライト表示にします。
- b) [詳細 (Details)]を押します。
- c) ダイアルする作業番号をハイライト表示します。
- d) [通話]を押します。

ステップ8 (任意) ダイアルする番号を変更してから連絡先に電話をかけるには、次の手順に従います。

- a) 検索結果で連絡先をハイライト表示にします。
- b) [詳細 (Details)]を押します。
- c) 変更する作業番号をハイライト表示します。
- d) [通話の編集]をクリックします。
- e) 必要に応じて番号を編集します。
- f) [通話]を押します。

関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (81 ページ)

[Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索](#) (67 ページ)

[LDAPディレクトリにて連絡先を検索](#) (75 ページ)

社内ディレクトリ(Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

お使いの電話機は、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリ、Broadsoft Directory、および Cisco XML Directory の3種類の企業ディレクトリをサポートしています。

Webex ディレクトリ

Webex ディレクトリを使用して、連絡先を検索できます。管理者がお使いの電話機に Webex ディレクトリを設定します。Webex 連絡先を検索して表示することで、電話をかけやすくなります。Webex 連絡先の表示名を編集できます。管理者が Webex の連絡先をラインキーまたはプログラム可能なソフトキーとして設定すると、電話ホーム画面にラインキーまたはソフトキーにディレクトリ名が表示され、ディレクトリ検索画面に直接アクセスしやすくなります。

Webex ディレクトリにて連絡先を検索

Webex ディレクトリ内の連絡先を電子メールまたは名前で検索できます。

始める前に

管理者は Webex ディレクトリを有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] を押します。

ステップ 2 [ディレクトリ] 画面で、Webex ディレクトリを選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は**Webex ディレクトリ**です。

ステップ 3 [Webex ディレクトリの検索] 画面で、名前または電子メールのいずれかで検索条件を入力します。

ステップ 4 [検索 (Search)] をクリックします。

(注)

名前または電子メールを入力して、[すべてのディレクトリ] 検索画面から Webex 連絡先を検索することもできます。詳細については、[すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索 \(65 ページ\)](#) を参照してください。

- 検索操作では、同じ名前、勤務先の電話番号、および携帯電話番号の連絡先が取得される場合があります。このような場合、Webex ディレクトリには連絡先が1つだけ表示され、残りの連絡先は重複していると見なされます。

次に例を示します。

- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456") が取得された場合、ディレクトリには A のみが表示されます。
- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456"、携帯電話: "8888") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456"、携帯電話: "8888") が取得された場合、ディレクトリには A のみが表示されます。
- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456"、携帯電話: "8888") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456"、携帯電話: "2222") が取得された場合、ディレクトリには A と B の両方が表示されます。

ステップ 5 (任意) 検索されたリストから連絡先を選択し、[詳細] を押します。氏名、仕事用電話番号、携帯電話番号、電子メール、部署などの詳細が表示されます。

ステップ 6 (任意) 連絡先を選択して電話をかけます。

- 連絡先に仕事用電話番号と携帯電話番号の両方がある場合、ディレクトリには仕事用電話番号が電話番号として表示されます。仕事用電話番号は、携帯電話番号よりも優先順位が高いです。詳細画面で、名前または仕事用電話番号を選択してコールを発信すると、電話機は仕事用の電話番号をダイヤルします。ただし、携帯電話番号を選択して電話を発信すると、電話機は携帯電話番号をダイヤルします。

- 連絡先に携帯電話番号のみ設定されている場合、ディレクトリに携帯電話番号が電話番号として表示されます。
- 連絡先に仕事用電話番号と携帯電話番号がない場合、ディレクトリには電話番号のない名前だけが表示されます。この連絡先に電話をかけることはできません。

ステップ7 (任意) 連絡先を選択して **[通話の編集]** を押して、**[新しいコール]** 画面にアクセスします。この画面で、連絡先番号を仕事用電話番号または携帯電話番号に変更してから、新しいコールを行います。連絡先に電話番号が設定できない場合は、**[通話の編集]** が機能しません。



(注) 電話機が連絡先を検索している間は、電話機が最終結果を取得する前に、**[キャンセル]** を押して検索操作をキャンセルできます。

Webex ディレクトリ検索には、次の条件とエラーシナリオがあります。

- **[名前/電子メール]** ボックスに最小3文字を入力する必要があります。3文字未満を入力すると、「無効な入力」というメッセージが表示されます。3文字以上入力してください
- 正しい検索条件を入力しても、電話機から値が返されない場合。「一致するものが見つかりません」というメッセージが表示されます。
- 管理者が最大表示値に100を超える値を設定しても、Webex ディレクトリまたはすべてのディレクトリで検索される連絡先のうち100件のみが検索結果に表示されます。検索結果のカウントが許可された表示レコード値を超えると、「一致するものが多すぎます。検索を絞り込みます」というメッセージが表示されます。
- 検索中に、ネットワークの問題またはドメインネームサーバ (DNS) の応答に失敗し、次のメッセージが表示される場合。ディレクトリアクセスが失敗しました。設定とネットワーク設定を確認し、管理者に問い合わせてください。

すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索

[すべてのディレクトリ] 画面から Webex の連絡先を検索できます。



(注) 管理者が最大表示値に100を超える値を設定しても、すべてのディレクトリで検索される連絡先のうち100件のみが検索結果に表示されます。検索結果のカウントが許可された表示レコード値を超えると、「一致するものが多すぎます。検索を絞り込みます」というメッセージが表示されます。

始める前に

- 管理者は Webex ディレクトリを有効にします。

- 管理者は、すべてのディレクトリ検索を有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]を押します。

ステップ 2 [ディレクトリ]画面で、[すべてのディレクトリ]を選択します。

ステップ 3 [すべてのディレクトリを検索]画面で、Webex連絡先の検索条件を入力します。名前または電子メールアドレスを入力できます。

すべてのディレクトリ検索で検索入力として1文字がサポートされ、連絡先の名前だけを入力できます。ただし、Webex の連絡先検索するには、最低3文字を入力する必要があり、名前または電子メールを入力して検索できます。したがって、この検索で入力する文字が3文字未満の場合、電話機は Webex の連絡先を検索しません。

ステップ 4 [検索 (Search)]をクリックします。

検索操作では、同じ名前、勤務先の電話番号の連絡先が検索される場合があります。このような場合、[すべてのディレクトリ]リストに、優先順位が最も高い連絡先が1つしか表示されません。残りの連絡先は重複しているとして無視されます。検索操作では、ディレクトリから次の順序で連絡先を取得しようとし、個人アドレス帳が最も優先されます。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- Webex ディレクトリ
- BroadSoft ディレクトリ
- LDAP ディレクトリ

ステップ 5 (任意) 検索されたリストから連絡先を選択し、[詳細]を押します。[検索結果の詳細]画面に、氏名、仕事用電話番号、携帯電話番号、電子メール、部署などの詳細が表示されます。

[検索結果の詳細]画面に、Webex の連絡先を個人アドレス帳に追加できます。追加するには、名前を選択し、[オプション]>[連絡先の追加]>を選択し、[個人アドレスの追加]入力画面で詳細を選択して保存します。[個人アドレス帳]画面にアクセスして、追加された Webex 連絡先を検索すると、連絡先が PAB に追加された则表示されます。BroadSoft ディレクトリで追加された連絡先を検索すると、追加された Webex 連絡先を取得します。

連絡先を検索する場合は、[Webex]か[XSI サーバー (XSI Server)]のいずれかを選択することをお勧めします。Webex の連絡先と XSI サーバーの連絡先を同時に検索することはできないためです。

Webex ディレクトリ名の編集

Webex ディレクトリの表示名は変更できます。

始める前に

管理者が Webex のサポートを設定します。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 Webex ディレクトリ を強調表示します。

ステップ 3 [オプション] をクリックします。

ステップ 4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 5 [Webex ディレクトリ設定] 画面で、[ディレクトリ名] ボックスで名前を編集します。入力した名前は、ディレクトリリストの下に Webexディレクトリ名として表示されます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

Broadsoft ディレクトリ

Broadsoftディレクトリ内で個人、グループ、または企業の連絡先を検索したり表示したりできるため、簡単に電話をかけることができます。管理者がお使いの電話機にBroadsoftディレクトリを設定します。このアプリケーション機能は、BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索

始める前に

- 管理者は、BroadSoft XSI サービスを有効にします。
- 管理者は、BroadSoft ディレクトリを有効にして、ディレクトリを適切に設定します。
- 管理者は、ディレクトリのブラウズモードを有効にします。

このモードが有効になっている場合は、プリロード操作がディレクトリからすべての連絡先を取得するために自動的に開始されます。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、カテゴリを押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 [Broadsoft ディレクトリ (BroadSoft directory)] を選択する。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通

(注)

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft ディレクトリ**のみ表示されます。

ディレクトリを入力した後、プリロード処理が完了するまで待機します。 **キャンセル**を押して、プリロード操作を停止できます。

ステップ4 オプションを押し、**検索**を選択します。

管理者がディレクトリのブラウザモードを無効にすると、代わりに電話機に**検索**ソフトキーが表示されます。

ステップ5 検索条件を選択します。

- BroadSoft の企業ディレクトリまたはグループディレクトリでは、姓、名、ユーザー ID、電話番号、内線、携帯電話、部署、またはメールアドレスによって連絡先を検索できます。
- Broadsoft 企業共通、グループ共通、または個人ディレクトリでは、連絡先を名前または番号によって検索できます。

ステップ6 検索条件を入力し、**検索** を押します。

BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集

始める前に

管理者は、BroadSoft XSI サービスのディレクトリの個別のモードを無効にします。

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ3 **BroadSoft ディレクトリ**を強調表示します。

ステップ4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ6 [タイプ (Type)] フィールドを選択します。

BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプとして企業、グループ、個人、企業共通またはグループ共通を選択できます。

ステップ7 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する

BroadSoft 個人ディレクトリに連絡先を追加、編集、または削除できます。

始める前に

- 電話機が BroadSoft XSI サービスに接続します。
- 管理者が BroadSoft 個人ディレクトリを有効にします。
- 管理者が、BroadSoft 個人ディレクトリを新しい連絡先を保存するターゲットディレクトリに設定します。
- 管理者がディレクトリのブラウズモードを有効にします。
このモードが有効になっている場合は、プリロード操作がディレクトリからすべての連絡先を取得するために自動的に開始されます。

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ3 BroadSoft 個人ディレクトリに連絡先を追加するには、次の手順を実行します。

a) BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。

(注)

管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 [**BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)**] が表示されます。これを選択します。

b) プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。

管理者がディレクトリブラウズモードを無効にしている場合、ディレクトリブラウズモードではなく [**パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)**] メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。

c) **オプション** を押し、**追加** を選択します。

- d) 連絡先の詳細を入力します。
- e) [保存]を押します。

ステップ 4 他のディレクトリ（有効な場合）の連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加するには：

- a) すべてのディレクトリ、BroadSoftディレクトリ、LDAPディレクトリ、または個人用アドレス帳を選択します。
- b) 追加する連絡先を検索します。
- c) 連絡先を強調表示します。
- d) **オプション**を押し、**連絡先の追加**を選択します。
- e) 連絡先の詳細を入力します。
- f) [保存]を押します。

ステップ 5 BroadSoft パーソナルディレクトリの連絡先を編集するには、次の手順を実行します。

- a) BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。

（注）

管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 **[BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** が表示されます。これを選択します。

- b) プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。

管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にしている場合、ディレクトリ ブラウズモードではなく **[パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)]** メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。

- c) 編集する連絡先を強調表示します。
- d) **オプション**を押し、**編集**を選択します。
- e) 連絡先の詳細を編集します。
- f) [保存]を押します。

ステップ 6 BroadSoft 個人ディレクトリから連絡先を削除するには、次の手順を実行します。

- a) BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。

（注）

管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 **[BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** が表示されます。これを選択します。

- b) プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。

管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にしている場合、ディレクトリ ブラウズモードではなく **[パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)]** メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。

- c) 削除する連絡先を強調表示します。

d) [オプション (Option)] を押して、[削除 (Delete)] を選択します。

BroadSoft ディレクトリ名の編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft ディレクトリ** のみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通



(注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが [ディレクトリ (Directories)] 画面に表示されません。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ** を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- **BroadSoft ディレクトリ** を強調表示します。
- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

ステップ 4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 6 [ディレクトリ名 (Directory Name)] フィールドを編集します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft** ディレクトリのみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通



(注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが [ディレクトリ (Directories)] 画面に表示されます。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- **BroadSoft** ディレクトリを強調表示します。
- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

ステップ 4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 6 [ホストサーバー (Host Server)] フィールドを編集します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

のログイン情報のユーザ ID 編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft** ディレクトリのみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通



(注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが [ディレクトリ (Directories)] 画面に表示されません。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- **BroadSoft** ディレクトリを強調表示します。
- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

ステップ 4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 6 (任意) ログイン情報または SIP 資格情報の**認証タイプ**を設定します。

ステップ 7 認証タイプに基づいて、ユーザのログイン情報を入力します。

- ログイン情報: **ユーザー ID** と **パスワード**のフィールドを編集します。
- SIP 資格情報: **Sip auth ID** と **SIP パスワード**フィールドを編集します。

ステップ 8 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

BroadSoft ディレクトリのパスワードを編集

手順

- ステップ 1 [連絡先] を押します。
- ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)] を選択します。
- ステップ 3 [オプション (Option)] を押します。
- ステップ 4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。
- ステップ 5 [パスワード (Password)] を選択します。
- ステップ 6 [編集 (Edit)] を押して、エントリを変更します。
- ステップ 7 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存します。
- ステップ 8 [パスワード (Password)] フィールドを編集します。
- ステップ 9 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

LDAP ディレクトリ

Cisco IP 電話はLightweightディレクトリアクセスプロトコル (LDAP) v3 に対応しています。名前、電話番号、またはその両方の指定されたLDAPディレクトリを検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの、LDAP ベースのディレクトリがサポートされています。

電話機のLDAPディレクトリにアクセスするには、少なくとも1回はユーザログイン情報を入力してください。管理者は、電話機の管理ウェブページでユーザのログイン情報を設定することができます。LDAPディレクトリに正常にアクセスすると、電話機はユーザのログイン情報を保存します。次回から、ユーザログイン手順をスキップすることができます。電話機は、ホストユーザまたはゲストユーザのユーザログイン情報を保存できます。これらのユーザは、柔軟な座席またはエクステンションモビリティ機能を備えた電話機にサインインします。

LDAP ディレクトリのログイン情報の編集

電話機のLDAPディレクトリにアクセスすると、ユーザの資格情報の入力が必要になる場合があります。事前にログイン情報を編集して、サインイン手順を回避することができます。また、ユーザのログイン情報を編集してLDAPアカウントを変更することもできます。

電話機は、さまざまなタイプのユーザのログイン情報を保存します。たとえば、柔軟な座席またはエクステンションモビリティ機能を備えた電話機にサインインしているユーザがいるとします。電話機でユーザを切り替えた後、電話機はユーザのログイン情報を保持します。したがって、サインインする必要がなくてもLDAPディレクトリにアクセスできます。

始める前に

管理者はLDAPディレクトリを有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 (任意) [カテゴリ (Category)] を押します。

管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にした場合、そのソフトキーは電話機に表示されません。

ステップ 3 LDAP ディレクトリを強調表示します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (LDAP)」です。

ステップ 4 オプションを押し、設定の編集を選択します。

ステップ 5 ユーザ クレデンシャルを入力します。

表示されるフィールドは、管理者が選択した認証方法に応じて異なります。

- 認証方法が「シンプル」の場合、電話機は **クライアント DN** と **パスワード** のログイン情報を要求します。
- 認証方法が「DIGEST-MD5」の場合、電話機は **ユーザ名** と **パスワード** のログイン情報を要求します。

ステップ 6 保存をクリックしてログイン情報を保存します。

LDAPディレクトリにて連絡先を検索

始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ** を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (LDAP)」です。

ステップ 4 (任意) プロンプトが表示されたら、ユーザのログイン情報を使用してログインします。

電話機は、LDAP ディレクトリにアクセスするために次のいずれかのログイン情報を要求します。

- **クライアント DN** と **パスワード**

- ユーザ名とパスワード

詳細については、管理者に連絡してください。

電話機のローカルキャッシュにユーザのログイン情報が含まれている場合は、ユーザのサインイン手順を自動的にスキップします。

ディレクトリを入力すると、電話機はディレクトリからすべての連絡先の取得を開始する場合があります。

ステップ5 (任意) 自動ロードを停止するには、**キャンセル**を押します。

ステップ6 **オプション**を押して、次のいずれかの方法を選択します。

- **管理検索**: 連絡先の名前と名字を使って検索できます。
- **詳細検索**: 連絡先の姓、名、および電話番号で検索できます。

ステップ7 検索条件を入力し、**検索**を押します。

関連トピック

[LDAP ディレクトリの連絡先に電話する](#) (76 ページ)

[LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集](#) (77 ページ)

LDAP ディレクトリの連絡先に電話する

始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

手順

ステップ1 LDAP ディレクトリの連絡先の検索は、[LDAPディレクトリにて連絡先を検索](#) (75 ページ) を参照してください。

検索が完了すると、一致した連絡先が検索結果リストのエントリの形式で表示されます。

ステップ2 **[会社ディレクトリ (LDAP) 結果一覧]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。

通常、電話には、連絡先番号と共にエントリが表示されます。ただし、エントリに連絡先番号がない場合は、連絡先番号フィールドは空です。

ステップ3 **[通話]**を押します。

(注)

電話でダイヤルアウトするエントリの最初の利用可能な連絡先番号が選択されます。エントリに複数の連絡先番号が含まれている場合に、他の連絡先番号を呼び出す場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、残りの手順はスキップしてください。

- ステップ4** ハイライトされたエントリの詳細情報を表示するには、**[詳細]** を押します。
- ステップ5** **[会社ディレクトリ (LDAP) アドレスエントリ]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。
- エントリの詳細に特定の属性が複数回表示され、各属性に連絡先番号が含まれていることを確認できます。
- ステップ6** ダイアルアウトできる連絡先の電話番号をハイライト表示し、**[通話]** を押します。
- [通話]** ソフトキーは、編集できる連絡先番号についてのみ表示します。

LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集

電話をかける前に、選択した既存の番号に基づいて連絡先番号を編集できます。

始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

手順

-
- ステップ1** LDAP ディレクトリの連絡先の検索は、**LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (75 ページ)** を参照してください。
- 検索が完了すると、一致した連絡先が検索結果リストのエントリの形式で表示されます。
- ステップ2** **[会社ディレクトリ (LDAP) 結果一覧]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。
- 通常、電話には、連絡先番号と共にエントリが表示されます。ただし、エントリに連絡先番号がない場合は、連絡先番号フィールドは空です。このシナリオでは、エントリの連絡先番号を編集することはできません。
- ステップ3** **[通話の編集]** をクリックします。
- (注)
エントリに複数の連絡先番号 (コンマで区切られた番号) が含まれている場合に、そのうちの1つの連絡先番号を編集するには、**手順4~6** を実行します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ4** ハイライトされたエントリの詳細情報を表示するには、**[詳細]** を押します。
- ステップ5** **[会社ディレクトリ (LDAP) アドレスエントリ]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。
- エントリの詳細に特定の属性が複数回表示され、各属性に連絡先番号が含まれていることを確認できます。

- ステップ6** 連絡先の電話番号をハイライト表示し、**[通話の編集]** を押します。
- [通話の編集]** ソフトキーは、編集できる連絡先番号についてのみ表示します。
- ステップ7** 必要に応じて番号を編集します。
- ステップ8** **[通話]** を押します。
-

XML ディレクトリ

管理者が電話の XML ディレクトリを設定した後、電話は XML ディレクトリサービスまたはアプリケーションから連絡先を取得できます。このようにして、XML ディレクトリ内の連絡先を表示および呼び出すことができます。通常、電話では、XML ディレクトリに最大 200 件の連絡先（またはエン트리）を表示できます。

XML ディレクトリの連絡先に電話する

始める前に

管理者が XML ディレクトリを構成しました。

手順

- ステップ1** **[連絡先]** を押します。
- ステップ2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ** を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ3** XML ディレクトリを選択します。
- デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (XML)」です。
- ステップ4** **[ディレクトリ]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。
- 電話には、1 つ以上の連絡先番号と共にエントリが表示されます。
- ステップ5** **[通話]** を押します。
- (注)
複数の連絡先番号が含まれるエントリの場合、電話機は常に最初にダイヤルアウトする連絡先番号を選択します。エントリの他の連絡先番号を呼び出す場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、残りの手順はスキップしてください。
- ステップ6** ナビゲーションクラスタの **[選択]** ボタンを押して、ハイライト表示されたエントリの詳細を表示します。

ステップ7 [コーポレートディレクトリ (XML) アドレスエントリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。

エントリには、最大5つの連絡先番号を含めることができます。

ステップ8 連絡先の電話番号をハイライト表示し、[通話]を押します。

XML ディレクトリの連絡先番号の編集

電話をかける前に、選択した既存の番号に基づいて連絡先番号を編集できます。

始める前に

管理者が XML ディレクトリを構成しました。

手順

ステップ1 [連絡先]を押します。

ステップ2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ3 XML ディレクトリを選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (XML)」です。

ステップ4 [ディレクトリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。

電話には、1つ以上の連絡先番号と共にエントリが表示されます。

ステップ5 次のいずれか1つの処理を実行します。

- エントリに連絡先番号が1つだけ含まれている場合：
 1. [通話の編集]をクリックします。
 2. 必要に応じて番号を編集します。
 3. [通話]を押します。
- エントリに複数の連絡先番号（コンマで区切られた番号）が含まれている場合、そのうちの1つの連絡先番号を編集します。
 1. ナビゲーションクラスタの[選択]ボタンを押して、ハイライト表示されたエントリの詳細を表示します。
 2. [企業ディレクトリ (XML) アドレスエントリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、連絡先番号をハイライト表示します。

エントリには、最大5つの連絡先番号を含めることができます。

3. [通話の編集] をクリックします。
4. 必要に応じて番号を編集します。
5. [通話] を押します。

個人用アドレス帳

個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加

始める前に

管理者によって、電話機で個人用アドレス帳を有効にする必要があります。それ以外の場合、[個人用アドレス帳 (Personal address book)] メニュー項目は表示されません。

管理者によって、新しい連絡先を保存するターゲットディレクトリとして個人用アドレス帳が設定されていること。

手順

- ステップ 1 [連絡先] を押します。
- ステップ 2 電話機に表示されている場合は、カテゴリを押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ 3 個人用アドレス帳に連絡先を追加する。
 - a) [個人用アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。
 - b) [ツイカ (Add)] を押します。
 - c) 名前と1つ以上の電話番号を入力します。
 - d) (任意) 連絡先のカスタム着信音を選択します。
 - e) [保存 (Save)] を押して連絡先を追加します。
- ステップ 4 その他のディレクトリの連絡先を個人用アドレス帳に追加する。
 - a) すべてのディレクトリ、BroadSoft ディレクトリ、または LDAP ディレクトリを選択します。
 - b) 追加する連絡先を検索します。
 - c) 連絡先を強調表示します。
 - d) オプションを押し、連絡先の追加を選択します。
 - e) 名前と1つ以上の電話番号を入力します。
 - f) (任意) 連絡先のカスタム着信音を選択します。

g) [保存 (Save)] を押して連絡先を追加します。

関連トピック

[の \[すべてのディレクトリ\] 画面で連絡先を検索 \(61 ページ\)](#)

[Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 \(67 ページ\)](#)

[LDAP ディレクトリにて連絡先を検索 \(75 ページ\)](#)

電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加

始める前に

管理者によって、電話機で個人用アドレス帳を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

手順

-
- ステップ 1** 電話機の Web ページで、[ユーザログイン (User Login)] > [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します。
 - ステップ 2** [パーソナルディレクトリに追加 (Add to Personal Directory)] をクリックします。
 - ステップ 3** 名前と関連番号または番号を追加します。番号には、名前、勤務先の番号、携帯電話の番号、自宅の番号が含まれます。
 - ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

個人用アドレス帳での連絡先の検索

始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

手順

-
- ステップ 1** [連絡先] を押します。
 - ステップ 2** 表示されている場合は、カテゴリを押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
 - ステップ 3** [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。
 - ステップ 4** [オプション (Option)] > [検索 (Search)] を選択します。
 - ステップ 5** 検索するアドレスエントリを入力し、を押します。一致した連絡先が電話機に表示されます。

名前でのみ検索できます（大文字と小文字は区別されません）。番号による検索には対応していません。

個人用アドレス帳の連絡先へのコール

始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。

ステップ 4 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリをハイライトします。

ステップ 5 [通話] を押します。

関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (81 ページ)

個人用アドレス帳の連絡先の編集

始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

手順

ステップ 1 [連絡先] を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。

ステップ 4 変更するエントリをハイライトします。

ステップ 5 [編集 (Edit)] を押します。

ステップ 6 エントリの情報を変更します。

ステップ7 [保存]を押します。

関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (81 ページ)

個人用アドレス帳から連絡先を削除する

始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

手順

ステップ1 [連絡先]を押します。

ステップ2 表示されている場合は、カテゴリを押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。

ステップ4 削除する連絡先を検索します。

ステップ5 連絡先のアドレスエントリをハイライトし、[オプション (Option)] > [削除 (Delete)] を押してエントリを削除します。

関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (81 ページ)

着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップ検索をします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは1つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは2つ目のコールに一致する名前が検索されます。

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 電話連絡先
2. コール履歴
3. LDAP ディレクトリ
4. XML ディレクトリ



第 4 章

通話履歴

- [最近の通話リスト](#) (85 ページ)
- [最近の通話履歴を表示する](#) (85 ページ)
- [Webex 通話記録時間の表示](#) (87 ページ)
- [Webex 通話のスパムの表示](#) (88 ページ)
- [サーバーからの通話履歴を表示](#) (89 ページ)
- [最近の通話履歴に戻る](#) (89 ページ)
- [最近の通話履歴を消去する](#) (90 ページ)
- [通話履歴レコードからの連絡先の作成](#) (90 ページ)
- [通話レコードの削除](#) (91 ページ)
- [全ての通話履歴を削除](#) (92 ページ)

最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 180 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

サーバ上で STIR/SHAKEN のサポートが実装されている場合、電話機は発信者の STIR/SHAKEN 検証結果に基づいて、発信者 ID の横に追加のアイコンを表示します。検証結果に基づいて、電話機に 3 種類のアイコンが表示されます。アイコンの詳細については、[最近の通話履歴を表示する](#) (85 ページ) を参照してください。

最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。




(注) 各回線には不在着信バッジがあります。電話機の画面で、回線ごとの不在着信件数を表示できます。最大不在着信のバッジは 99 です。特定の回線の電話画面で [全通話 (All calls)] または [不在着信 (Missed calls)] リストを表示すると、選択した回線の不在着信バッジが消去されます。

履歴リストに表示されるコールは 180 件までに制限されているため、不在着信バッジと実際の不在着信数は異なる場合があります。この制限は、発信コール、不在着信、および着信コールで構成されます。また、古い不在着信が不在着信バッジのカウントに追加されている場合があります。これは履歴リストで上書きできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 以下のいずれかの操作を行います。

- デスクフォン: 表示する回線を選択肢、[アプリケーション (Applications)]  を押します。
- 会議用電話: [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 3 [最近 (Recents)] を選択して、[最近 (Recents)] 画面にアクセスします。

電話機のホーム画面で [最近 (Recents)] ソフトキーを押しても同じ画面にアクセスできます。管理者が電話機の Web インターフェイスで設定している場合にのみ、このソフトキーが表示されます。

[通話履歴 (Recents)] ソフトキーを押すと、自動的に [全通話 (All calls)] 画面に直接移動します。

ステップ 4 [通話履歴 (Recents)] 画面で、すべての最近の通話を表示するか、次の通話リストから特定の種類の最近の通話を表示するかを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

[通話履歴を表示 (Display recents from)] オプションで通話履歴を表示する方法については、[サーバーからの通話履歴を表示 \(89 ページ\)](#) を参照してください。

管理者は、すべての通話、着信、受信、および着信のリストに対して、**オプション**、**通話**、**通話の編集**、**フィルタ**、および**バック** ソフトキーを画面で設定します。これらのソフトキーは、設定されると、上記のコールリストのメニューにアクセスした際に表示されます。ソフトキーは、設定に基づいて、コールリストの [オプション (Option)] メニューの 1 つとしても表示できます。




管理者は、Webex コールをログに記録するサポートを有効にします。[すべての通話]画面で、コールが電話番号で表されている場合は、[通話]と[通話の編集]ソフトキーが表示されます。コールが電話番号で表されていない場合、電話機にはどちらのソフトキーも表示されません。

上記のコールリストの各メニューには、次のメニューを含むオプションソフトキーが含まれています。

- フィルタ (Filter) - 押すと、[最近 (Recents)] 画面にアクセスします。
このメニューを利用できるかどうかは、電話機の Web インターフェイスでの管理者のソフトキー設定によって決定します。
- 通話の編集 (Edit call) - 押すと、通話エントリの詳細を編集できるようになります。
このメニューを利用できるかどうかは、電話機の Web インターフェイスでの管理者のソフトキー設定によって決定します。
- エントリの削除 (Delete entry) - 押すと、選択したエントリが削除されます。
- リストの削除 (Delete list) - 押すと、選択したメニューのすべてのエントリが削除されます。
- 名前順 (Sort by name) - 選択すると、発信者の名前に従って並べ替えられます。
- 連絡先の追加 (Add contact) - 新しい連絡先がディレクトリに追加されます。

管理者が Webex コールのログを記録するサポートを有効にし、[全通話 (All calls)] 画面でコールが電話番号で表されている場合は、[連絡先の追加 (Add contact)] オプションを表示できます。コールが電話番号で表されていない場合、オプションメニューには[連絡先の追加] オプションは含まれません。

(注)

- 電話の発信者 ID の横に表示される追加のアイコン  は、検証済みコールを示します。
任意の通話の通話詳細に移動すると、その通話が不在着信、または応答済み通話かを確認できます。
- 発信者 ID の横に、不正な発信者を示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。
- 発信者 ID の横に、確認されていないコールを示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。

Webex 通話記録時間の表示

受信および発信 Webex 通話の時間を表示できます。

始める前に

- 電話が Webex クラウドサーバーで作動します。
- 管理者は、電話機のメニューから**[最近の履歴の表示 (Display recents)]**を追加します。
- 管理者が Webex コールからログを表示することを有効にすると、**Webex** オプションが**[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)]**で使用できるようになります。

手順

ステップ 1 **[最近 (Recents)]** を選択して、**[最近 (Recents)]** 画面にアクセスします。

電話機のホーム画面で**[最近 (Recents)]** ソフトキーを押しても同じ画面にアクセスできます。管理者が電話機の Web インターフェイスで設定している場合にのみ、このソフトキーが表示されます。




[最近 (Recents)] ソフトキーを押すと、自動的に**[すべてのコール (All calls)]** 画面に直接移動します。

ステップ 2 **[すべての通話 (All calls)]** 画面で、通話記録を選択します。

発信した通話または着信した通話を選択すると、**[通話時間 (Duration)]** フィールドに通話時間が表示されます。不在着信の場合、通話時間情報は表示されません。

Webex 通話のスパムの表示

電話機が Webex サーバーに登録されている場合、電話機のコールセッション、ローカルコールログ、および Webex コールログに、次のアイコンが検証用に表示されます。

- 電話の発信者 ID の横に表示される追加のアイコン  は、検証済みコールを示します。任意の通話の通話詳細に移動すると、その通話が不在着信、または応答済み通話かを確認できます。
- 発信者 ID の横に、不正な発信者を示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。
- 発信者 ID の横に、確認されていないコールを示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。

サーバーからの通話履歴を表示

選択に応じて、BroadWorks XSI サーバーの通話ログとローカル通話ログ、市内通話のログ、および Webex クラウドサーバーからの個別リストを表示できます。

電話機は、ユーザが電話機の BroadWorks コールログに移動したときに、ローカルのパーソナルディレクトリに対する逆引き名前ルックアップを行います。

始める前に

管理者は、電話機のメニューから[最近の履歴の表示 (Display recents)]を追加します。

管理者が Webex コールからログを表示することを有効にすると、Webex オプションが[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)]で使用できるようになります。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recents)]を選択します。

ステップ 3 [最近の通話履歴を表示 (Display recents from)]を選択し、オプションの一つを選びます。

- [XSI サーバー (XSI Server)] : サーバーに格納されていて、サーバーから転送された通話ログを表示します。
- [電話機 (Phone)] : 電話機に保存された通話ログを表示します。
- [Webex] : Webex クラウドサーバーに格納されている通話ログを表示します。


ステップ 4 [設定 (Set)]をクリックします。

すべての通話、不在着信、受信した通話、発信通話のリストを吸表示できます。

最近の通話履歴に戻る

手順

ステップ 1 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- デスクフォン : アプリケーション ボタン  を押します。
- ConferenCEPhone : [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recents)]を押します。

管理者が [不在 (Missed)] ソフトキーを設定し、不在着信があると、電話のホーム画面の [不在 (Missed)] ソフトキーを使用して [不在着信 (Missed calls)] リストにアクセスできます。

ステップ3 ダイヤルするコール レコードを選択します。

ステップ4 (任意) 通話履歴を編集するには [コールの編集 (Edit call)] を押します。


ステップ5 [通話] を押します。

最近の通話履歴を消去する

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 次のいずれか1つの処理を実行します。

- デスクフォン: アプリケーション ボタン  を押します。
- ConferenCEPhone: [設定 (Settings)] を押します。

ステップ3 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ4 削除するリストを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

ステップ5 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。

ステップ6 OK を押します。

通話履歴レコードからの連絡先の作成

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 リスト項目を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] オプションで通話を表示するには、[サーバーからの通話履歴を表示 \(89 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 4 追加する個々のレコードを強調表示します。

ステップ 5 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 6 [連絡先の追加 (Add contact)] を押します。

メニューラベルには、連絡先を追加するターゲットディレクトリが表示されます。

- [個人アドレスエントリの追加 (Add Personal address entry)] メニューが表示された場合は、連絡先をローカルの個人用アドレス帳に追加します。
- [BroadSoft 個人連絡先の追加 (Add BroadSoft Personal contact)] メニューが表示された場合は、連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加します。

管理者は、ターゲットディレクトリを変更できます。


ステップ 7 [保存 (Save)] を押して連絡先を追加します。

通話レコードの削除

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- デスクフォン：アプリケーション ボタン  を押します。
- ConferenCEPhone：[設定 (Settings)] を押します。

ステップ 3 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ 4 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

ステップ5 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。

ステップ6 [オプション (Option)] を押します。

ステップ7 [入力の削除 (Delete entry)] を選択します。

ステップ8 OK を押します。

(注)

詳細については、6800、7800、8800、7832、および8832 のマルチプラットフォーム フォンのユーザーガイドを参照してください。

全ての通話履歴を削除

電話機のすべての通話履歴レコードを削除できます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 [すべてのコール (All calls)] を選択します。

ステップ4 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。

ステップ5 OK を押します。



第 5 章

ボイスメール

- ボイスメール アカウント (93 ページ)
- 新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認する (94 ページ)
- ボイスメールへのアクセス (94 ページ)
- 音声ボイスメールへのアクセス (95 ページ)
- ボイスメールを設定した電話機の動作 (95 ページ)
- ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作 (96 ページ)

ボイスメール アカウント

電話機からパーソナル ボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ただし、管理者はボイスメールアカウントを設定する必要があります。ボイスメールシステムにアクセスするように電話機を設定することもできます。

管理者が電話機の[メッセージ (Messages)] ソフトキーを有効にした場合、ソフトキーを使用してボイスメールシステムにアクセスできます。

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。管理者は、ボイスメールシステムの電話番号を提供できます。

ボイスメール システムはそれぞれ異なっているため、お使いのボイスメール システムの使用方法を説明することはできません。お使いのボイスメール コマンドの詳細については、そのボイスメール システムのユーザ マニュアルを参照するか、管理者にお問い合わせください。

電話機でのボイスメールのセットアップ

管理者が電話で個人用ボイスメールの電話番号を設定していない場合は、自分で設定することができます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認する

ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。

ステップ3 ボイスメールにボイスメール電話番号を入力します。

ステップ4 [設定 (Set)] を押します。

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認する

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセットのライトストリップが赤色に点灯している。
- 不在着信の数とボイスメールメッセージの数が画面上に表示されている。新しいメッセージの数が99を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。
- 感嘆符 (!) は、緊急のボイスメールメッセージを示します。

Cisco IP 電話 6800 シリーズ、7800 シリーズ、および 8800 シリーズ：また、電話回線を使用する際に、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンからスタッター音が聞こえます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

Cisco IP 会議用電話 7832 および 8832：電話回線を使用する際に、スピーカーフォンからスタッター音が聞こえます。回線にボイスメッセージがある場合にのみ断続トーンが聞こえます。

ボイスメールへのアクセス

始める前に

管理者は電話機の [メッセージ (Messages)] ソフトキーを有効にします。

手順

ステップ1 [メッセージ (Messages)] ボタンを押します。

ステップ2 次のいずれか1つの処理を実行します。

- 6800：[メッセージ (Messages)]  または [メッセージ (Messages)] を押します。
- 7800 および 8800：[メッセージ (Messages)]  を押します。
- 7832 および 8832：[メッセージ (Messages)] を押します。

ステップ3 音声プロンプトに従います。

(注)

ボイスメール機能と PIN ルールの詳細については、[ボイスメールのセットアップと管理 \[英語\]](#)を参照してください。

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもパーソナルボイスメールを取得できる可能性があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用するものの、ビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

ステップ 1 スクリーン上で、**[音声 (Audio)]** ソフトキーを押します。

ステップ 2 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。

ボイスメールを設定した電話機の動作

この表は、構成ユーティリティの **[ハンドセット LED アラート (Handset LED Alert)]** フィールドが **[ボイスメール (Voicemail)]** に設定されているときの、さまざまなシナリオにおける電話機の動作の一覧を示します。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
ボイスメールなし、不在着信なし	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オフ	-
ボイスメールなし、不在着信なし	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメール	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
不在履歴	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメールなし、不在着信なし	イベントなし	LED オフ	-

ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作

この表は設定ユーティリティのハンドセット LED アラート 欄がボイスメール、不在着信に設定されている場合のさまざまなシナリオでの電話機の挙動の一覧です。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
ボイスメールなし、不在着信なし	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーは電話機で会話をします。
ボイスメールなし、不在着信なし	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメール	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーは電話で会話をし、ボイスメールに電話をし、メッセージを受け取ります。
不在履歴	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーは電話で会話をし、ボイスメールに電話をし、メッセージを受け取ります。
ボイスメールなし、不在着信なし	イベントなし	LED オフ	-



第 6 章

設定

- 電話設定の概要 (98 ページ)
- 呼出音の変更 (98 ページ)
- 電話画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。 (98 ページ)
- 電話機からのコール転送 (99 ページ)
- 電話機の Web ページによる着信音の割り当て (100 ページ)
- 電話機のウェブページから DND をオンにする (101 ページ)
- 電話ウェブページからスクリーンセーバーを設定する (101 ページ)
- 電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする (102 ページ)
- 電話機の Web ページからコール待機を有効にする (103 ページ)
- 非通知着信の拒否 (103 ページ)
- 発信者 ID のブロック (103 ページ)
- コール待機を有効にする (104 ページ)
- 通話を安全化する (104 ページ)
- 自動応答ページのセットアップ (105 ページ)
- ボイスメールのセットアップ (105 ページ)
- [HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)] (106 ページ)
- 時間形式を変更する (109 ページ)
- 日付形式の変更 (110 ページ)
- スクリーンセーバーの変更 (110 ページ)
- 電話機の背景としてロゴを追加する (111 ページ)
- 電話機のページから壁紙を変更する (112 ページ)
- 言語の設定 (112 ページ)
- パスワードの設定 (113 ページ)
- 電話機のウェブページからのパスワードの設定 (113 ページ)
- プロフィールアカウントのセットアップ (114 ページ)
- BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加 (114 ページ)

電話設定の概要

管理者は電話機を設定して、電話画面または電話機のWebインターフェイスで設定のメニューを使用できるようにすることができます。特定のメニューが見つからない場合は、管理者に問い合わせてください。

呼出音の変更

着信通話の着信音を設定できます。

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザー設定 (User preferences)] > [着信音 (Ringtone)] > [内線(n)の着信音 (Ext(n) - Ringtone)] (nは内線番号) を選択します。
 - ステップ3 呼出音のリストをスクロールし、[再生]を押してサンプルを聞きます。
 - ステップ4 [選択 (Select)] を押してから [設定 (Set)] を押して選択内容を保存します。
-

電話画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。

集中したい時はサイレント (DND) に設定すれば、電話機をサイレント状態にして着信通話通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の通話者の通知を抑止することもできます。

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [応答不可 (Do not disturb)] を選択します。
(注)
[応答不可 (Do not disturb)] メニューが画面に表示されない場合は、管理者に問い合わせてください。

ステップ3 [オン (On)] を選択して DND をオンにするか、[オフ (Off)] を選択して DND をオフにします。

ステップ4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。

電話機からのコール転送

[通話転送設定] 画面に移動した後に着信コールを転送するように電話を設定できます。

通話転送サービスを設定する方法は他に2つあります。特定のソフトキーを使用して、コール転送サービスをセットアップできます。[コールの転送 \(46 ページ\)](#) を参照してください。電話 Web ページから通話転送サービスを設定するには、[電話機の Web ページによるコール転送 \(47 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

管理者は、通話転送サービスを有効にする必要があります。

管理者がコール転送の機能アクティベーションコードの同期を無効にします。有効になっている場合、画面の [不在転送 (Call Forward All)] 設定はユーザー専用です。ただし、[転送 (Forward)] サービスの設定は、メイン画面で [転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] を押して変更できます。詳細については、[機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する \(48 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 ユーザ設定の > 通話設定の > 通話転送を選択して、通話転送設定画面にアクセスします。

ステップ3 コール転送サービスを選択します。

- **すべて転送**：すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。
- **話中転送**：話中の時、すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。
- **応答なし転送**：コールが応答されない時、すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。

ステップ4 コール転送サービスを有効にするには、ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押します。

ステップ5 コール転送サービスの特定の番号を割り当てます。

- **すべての番号を転送**：すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。
- **話中の番号を転送**：話中の時、すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。
- **応答なしの番号を転送**：コールが応答されない時、すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。

- **応答なし転送の遅延**：応答がない場合のシナリオの応答遅延時間を割り当てます。

(注)


- 管理者がお使いの電話機の機能キー同期 (FKS) およびコール転送の XSI 同期を無効にした場合、通話の転送が必要となるまでの時間を秒数として入力できます。
- 管理者がお使いの電話機の FKS または通話転送の XSI 同期を有効にした場合、コールの転送が必要となるまでに鳴る着信音の回数を入力できます。

電話機のコール転送の設定は、FKS と XSI が無効になっている場合にのみ有効になります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

ステップ 6 (任意) **連絡先** ソフトキーを使用して、特定の電話番号を割り当てます。

- [**コール転送の設定 (Call Forward Settings)**] 画面で、いずれかのコール転送サービスを選択します。
- 選択したコール転送サービスに基づいて、[**転送番号 (Forward all number)**]、[**話中転送番号 (Forward busy number)**]、または [無応答時転送番号 (Fwd no answer number)] を選択し、[**連絡先 (Contacts)**] ソフトキーを押します。
- 連絡先を検索します。詳細については、の [**すべてのディレクトリ**] 画面で**連絡先を検索 (61 ページ)** を参照してください。
- 通話** を押して、特定の電話番号を割り当てます。
コール転送サービスの横に電話番号が表示されていることを確認できます。

ステップ 7 **設定** を押して、設定内容を適用します。

ステップ 8 コール転送  アイコンを検索して、設定が有効になっているかどうかを確認します。アイコンは、電話画面の左上または中央に特定の番号を表示します。

いずれかのタイプのコール転送サービスを有効にすると、[**転送 (Forward)**] または [**不在転送 (Forward all)**] ソフトキーが [**Clr fwd**] または [**Clf fwd all**] に変更されます。ソフトキーを押して、通話転送サービスを無効にし、特定の電話番号はそのままにすることができます。

Clf fwd all は、不在転送サービスのみを無効にし、**Clf fwd** はすべての転送サービスを無効にします。

電話機でのコール転送の設定が有効になっていない場合は、管理者にお問い合わせください。

電話機の Web ページによる着信音の割り当て

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > Ext(n)** を選択します。(n) は内線番号です。

ステップ 2 **Call Feature Settings** エリアで、**Default Ring** ドロップダウンリストから呼出音を選択します。

電話回線の呼出音を指定しない場合、**No ring** を選択します。着信コール受信時に電話は鳴りません。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

電話機のウェブページから DND をオンにする

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ 2 **Supplementary Services** の下で、**DND Settings** を **Yes** に設定します。

管理者が機能キー同期 (FKS) を有効にしていなければ、すべての回線で DND をオンにすることができます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

電話ウェブページからスクリーンセーバーを設定する

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

手順

ステップ 1 電話機のウェブページで、**[音声 (Voice)] > [ユーザ (User)]** を選択する。

ステップ 2 **Screen** セクションで、次の表の説明に従ってフィールドをセットアップします。

パラメータ	説明
Screen Server Enable	電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、 Yes を選択します。 リーンセーバーモードに入ります。 デフォルト: [いいえ (No)]

パラメータ	説明
Screen saver type	スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます： <ul style="list-style-type: none"> • Clock : 単色背景にデジタル時計を表示します。 • Download Picture : 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。 • Logo : 電話画面にロゴを表示します。 Logo URL フィールドでロゴ URL を入力します。
Screen Saver Wait	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。 スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。 デフォルト : 300
Picture Download URL	電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。写真をスクリーンセーバーとしてダウンロードされた画像が電話機の画面にスクリーンセーバーとして表示されます。 新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話機は既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、デフォルトの壁紙が表示されます。
Logo URL	ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴ URL の画像は電話画面にスクリーンセーバーとして表示されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ 2 **Supplementary Services** の下で、**Block ANC Setting** を **Yes** に設定します。

この設定は、管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間の非通知着信拒否の同期を有効にしている回線を除き、すべての回線に適用されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

電話機の Web ページからコール待機を有効にする

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ 2 **Supplementary Services** の下で、**CW Setting** を **Yes** に設定します。

この設定は、管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間のコール待機の同期を有効にしている回線を除き、すべての回線に適用されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

非通知着信の拒否

特定の回線またはすべての回線について、発信者情報のない着信をブロックできます。

管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間での非通知着信拒否の同期を有効にしている場合は、あなたの設定はすべての回線ではなく特定の回線にのみ適用されます。通常、この設定は、同期が有効になっている回線を除き、すべての回線に適用されます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preference)] > [匿名通話をブロック (Block anonymous call)]を選択します。

ステップ 3 [オン (On)]を選択して発信者情報が無い通話をブロックするか、[オフ (Off)]を選択して通話を許可します。

ステップ 4 [設定 (Set)]を押して設定を保存します。

発信者 ID のブロック

電話をかけるときにあなたの名前と電話番号が受信者の画面に表示されないように、発信者識別をブロックすることができます。この機能はプライバシー保護に役立ちます。

始める前に

管理者が、お使いの電話機でこのブロック CID 機能を有効にします。

管理者が、XSI BroadWorksサーバーでブロックCID機能を有効にします。

手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。
- ステップ3 [発信者IDのブロック (Block caller ID)] を選択します。
- ステップ4 [選択 (Select)] を押して、発信者IDブロックをオンまたはオフに切り替えます。

管理者が発信者IDのブロック機能をXSI BroadWorksサーバーで有効にした場合、お使いの電話機がサーバから値を取り戻し、管理者がサーバに設定した値が表示されます。この値は電話機の[発信者IDブロック (Block caller ID)]メニューから変更できます。

- ステップ5 [設定 (Set)] を押して、変更を保存します。

コール待機を有効にする

特定の回線またはすべての回線のコール待機を有効にできます。有効にすると、アクティブコール中にコール通知（1回のピープ音と、回線ボタンが赤色に点滅）を受信します。

管理者が回線とBroadSoft XSIサービス間でのコール待機の同期を有効にしている場合は、あなたの設定はすべての回線ではなく特定の回線にのみ適用されます。通常、この設定は、同期が有効になっている回線を除き、すべての回線に適用されます。

手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [コールウェイトイング (Call waiting)] を選択します。
- ステップ3 別のコール中に呼出音が鳴った着信コールに応答するには[オン (On)]を選択し、この機能を無効にするには[オフ (Off)]を選択します。
- ステップ4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。

通話を安全化する

コールを暗号化して、盗聴者から保護することができます。すべての発信通話または特定の通話に対してセキュアコール機能を設定できます。

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preference)] > [セキュア通話 (Secure Call)] を選択します。
 - ステップ3 セキュア コール機能を有効にする場合は[オン (On)] を選択し、セキュア コール機能を無効にする場合は[オフ (Off)] を選択します。
 - ステップ4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。
-

自動応答ページのセットアップ

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザ設定 (User Preferences)] > [通話設定 (Call Preference)] > [オートアンサーページ (Auto Answer Page)] を選択します。
 - ステップ3 [オン (On)] を選択して自動応答ページを有効にするか、[オフ (Off)] を選択して自動応答ページを無効にします。
 - ステップ4 [設定 (Set)] を押して変更を保存します。
-

ボイスメールのセットアップ

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [ボイスメール (Voice mail)] を選択します。
 - ステップ3 ボイスメールを確認する電話番号を入力します。
 - ステップ4 [設定 (Set)] を押して、割り当てられた番号を確認します。
 - ステップ5 [戻る (Back)] を押して終了します。
-

[HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]

電話機の HTTP プロキシは、[ネットワーク設定 (Network configuration)] メニューの [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] メニューから設定できます。HTTP プロキシ設定は、電話機のウェブページでも利用できます。

関連トピック

[自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ \(106 ページ\)](#)

[手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ \(106 ページ\)](#)

[電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ \(107 ページ\)](#)

自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ

自動プロキシモードを選択して、電話機で HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

手順

-
- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ 2 [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] > [プロキシモード (Proxy mode)] を選択します。
 - ステップ 3 ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して、[自動 (Auto)] モードを選択します。
 - ステップ 4 [自動検出 (WPAD) (Auto discovery (WPAD))] を強調表示し、[オン (On)] を選択して PAC ファイルを自動的に取得するために使用される Web プロキシ自動検出 (WPAD) をオンにするか、[オフ (Off)] を選択して WPAD をオフにします。
デフォルトでは、電話機は自動プロキシモードで WPAD を使用します。
 - ステップ 5 (任意) 前の手順で WPAD をオフにした場合は、さらに [PAC URL] に有効なプロキシ自動設定 (PAC) URL を入力する必要があります。次に例を示します。
`http://proxy.department.branch.example.com/pac`
PAC URL がない場合は、管理者にお問い合わせください。
 - ステップ 6 設定を押して、設定内容を適用します。
-

手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ

手動プロキシモードを選択して、電話機で HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

始める前に

プロキシサーバーのサーバーアドレスとポートは管理者が提供します。

手順

-
- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ 2 [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] > [プロキシモード (Proxy mode)] を選択します。
 - ステップ 3 ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して、[手動 (Manual)] モードを選択します。
 - ステップ 4 [プロキシホスト (Proxy host)] にプロキシサーバーの有効なホスト名または IP アドレスを入力します。

(注)
プロキシホストにスキーム (http:// または https://) を指定しないでください。
 - ステップ 5 指定されたプロキシサーバーの有効なサーバーポートを [プロキシポート (Proxy port)] に入力します。
 - ステップ 6 (任意) プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシ認証 (Proxy authentication)] を強調表示し、[オン (On)] を選択します。
 - ステップ 7 (任意) ユーザー名とパスワードを入力し、プロキシサーバーにアクセスします。
ユーザー名とパスワードがわからない場合は、管理者に問い合わせてください。
 - ステップ 8 設定を押して、設定内容を適用します。
-

電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ

電話機のウェブページから自動プロキシモードまたは手動プロキシモードを選択して HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

手順

-
- ステップ 1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
 - ステップ 2 [HTTP プロキシ設定 (HTTP Proxy Settings)] セクションで、次の表に記載されているようにパラメータを設定します。

表 6: [HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]

パラメータ	説明
プロキシモード	<p>HTTPプロキシ設定のプロキシモードを選択します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 • 手動 • オフ <p>デフォルト : Off</p>
自動ディスカバリ(WPAD)を使用	<p>[はい (Yes)] を選択すると、Webプロキシ自動検出 (WPAD) メカニズムが使用され、プロキシ自動設定 (PAC) ファイルが自動的に取得されます。</p> <p>このパラメータを [いいえ (No)] に設定する場合は、[PAC URL] を設定する必要があります。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [自動 (Auto)] に設定した場合に使用できます。</p> <p>デフォルト : はい (Yes)</p>
PAC URL	<p>PAC ファイルを特定する URL。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [自動 (Auto)]、[自動検出を使用 (WPAD) (Use Auto Discovery (WPAD))] を [いいえ (No)] に設定した場合に使用できます。</p>
プロキシホスト	<p>プロキシサーバーのサーバーアドレス (ホスト名または IP アドレス)。</p> <p>スキーム (http:// または https://) は指定しないでください。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。</p>

パラメータ	説明
プロキシポート	<p>プロキシサーバーのポート番号。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。</p>
プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)	<p>プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[はい (Yes)] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No)] を選択します。パラメータの設定は、プロキシサーバーの実際の動作によって異なります。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。</p>
ユーザ名	<p>プロキシサーバーの資格情報を持つユーザーのユーザー名を入力します。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)]、[プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)] を [はい (Yes)] に設定した場合に使用できます。</p>
[パスワード (Password)]	<p>プロキシ認証用に指定されたユーザー名のパスワードを入力します。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)]、[プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)] を [はい (Yes)] に設定した場合に使用できます。</p>

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

時間形式を変更する

電話機の画面に表示される現在の時間形式を変更できます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [時間形式 (Time format)] を選択します。

サマータイムを設定するには、[デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [サマータイム (Daylight savings)] を選択します。サマータイムをオンにするには [オン (On)] を選択し、オフにするには [オフ (Off)] を押します。

ステップ3 (任意) [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [タイムゾーン (Time zone)] を選択します。

ステップ4 時間形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。

日付形式の変更

電話機の画面に表示する日付の形式を変更することができます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [日付形式 (Date format)] を選択します。

ステップ3 日付形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。

スクリーンセーバーの変更

電話機のスクリーンセーバーを有効にして、スクリーンセーバーの種類とスクリーンセーバーが表示される前に電話機がアイドル状態になるまでの時間を指定できます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [画面設定 (Screen preferences)] > [スクリーンセーバー (Screen saver)] を選択します。

ステップ3 [オン (On)] を選択してスクリーンセーバーをオンにし、[オフ (Off)] を選択してオフにします。

ステップ4 次の設定を選ぶには [スクリーンセーバーの設定 (Screen saver settings)] を選択します:

- [スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type)] : 次のオプションのいずれかを選択します。
 - [クロック (Clock)] : 円形の時計が描かれた壁紙を背景に表示します。
 - [ダウンロード画像 (Download Picture)] : 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。
 - [ロゴ (Logo)] : 電話機のスクリーンセーバーとしてロゴを表示します。この画像は、電話機の Web ページの [ロゴの URL (Logo URL)] フィールドで追加されます。
- [トリガー間隔 (Triggerinterval)] : スクリーンセーバーがオンになるまでの、電話機がアイドル状態となっている秒数を入力します。
- [更新間隔 (Refreshinterval)] : スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数を入力します (画像のローテーションを選択した場合など)。

ステップ5 [設定 (Set)] を押します。

電話機の背景としてロゴを追加する

電話画面の背景としてロゴアイコンを追加するには、電話機の Web ページから追加します。

手順

ステップ1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ2 [画面 (Screen)] セクションで、[電話機の背景 (Phone Background)] フィールドから [ロゴ (Logo)] を選択し、[ロゴ URL (Logo URL)] フィールドにロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機の背景にロゴを追加した後で、[電話機の背景 (Phone Background)] リストから [デフォルト (Default)] を選択して変更を保存すると、電話画面のロゴアイコンは消えます。

電話機のページから壁紙を変更する

管理者は、電話機のデフォルトの壁紙を、利用可能ないずれかの壁紙に変更することを許可できます。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ 2 **Phone Background** フィールドの **Screen** セクションで、任意のオプションを電話機の壁紙として選択します。

- **Default** : 電話機には壁紙がありません。電話機の画面に壁紙が追加されない場合、電話機の画面にはモノクロの壁紙が表示されます。
- **Logo** : 電話機の Web ページで、電話機の背景のオプションとして **Logo** を選択できます。**Logo URL** に追加したロゴは、壁紙として使用されます。

注意

Logo URL または **Picture Download URL** は、255 文字を超えないようにする必要があります。

ロゴの表示領域は、電話機の画面の中央です。電話機のロゴ表示領域のサイズは、128 × 128 ピクセルです。元のロゴのサイズが表示領域に収まらない場合、ロゴは表示領域に合わせてスケーリングされます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

言語の設定

お使いの携帯電話の設定によっては、お使いの携帯電話の言語を変更することができます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [言語 (Language)] を選択します。

ステップ 3 使用可能な言語のリストから言語を選択します。

ステップ 4 保存を選択します。

パスワードの設定

電話機のパスワードは定期的に再設定して、ネットワークのセキュリティを維持してください。

始める前に

パスワードが必要です。

手順

-
- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [パスワードの設定 (Set password)] を選択します。
 - ステップ 3 [旧パスワード (Old password)] フィールドに現在使用しているパスワードを入力します。
 - ステップ 4 [新規パスワード (New password)] フィールドと [新規パスワードの再入力 (Reenter new password)] フィールドに新しいパスワードを入力します。
 - ステップ 5 保存を選択します。

関連トピック

[電話機のウェブページからのパスワードの設定](#) (113 ページ)

電話機のウェブページからのパスワードの設定

パスワードは電話機ウェブページから更新できます。

始める前に

現在のパスワードが必要です。

手順

-
- ステップ 1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
 - ステップ 2 [システム設定 (System Configuration)] セクションで、[ユーザーパスワード (User Password)] パラメータを見つけて、パラメータの横にある [パスワードの変更 (Change Password)] をクリックします。
 - ステップ 3 [古いパスワード (Old Password)] フィールドに、現在のパスワードを入力します。
パスワードがない場合は、このフィールドを空のままにします。
 - ステップ 4 [新しいパスワード (New Password)] フィールドに、新しいパスワードを入力します。
 - ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

「パスワードが正常に変更されました。(Password has been changed successfully.)」というメッセージがウェブページに表示されます。

プロフィールアカウントのセットアップ

[プロフィールアカウントの設定 (Profile account setup)] 画面でプロンプトが表示されたら、プロビジョニングプロファイルと電話機を再同期するために、認証資格情報を入力する必要があります。

プロフィールアカウントの設定画面がわからなくなった場合、電話メニューまたは、利用可能な場合はセットアップからもアクセスできます。

電話機がサインインに失敗する場合、管理者にお問い合わせください。

始める前に

管理者は、電話機でプロファイル認証タイプを指定し、認証資格情報を提供します。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールアカウント設定 (Profile account setup)] を選択する。

あなたのユーザ名とパスワードは自動的に入力されます。以前にユーザ名とパスワードが追加されていない場合、これらの欄は空白です。

ステップ 3 [サインイン (Sign in)] を押して、ユーザ名とパスワードを保存します。

(注)

[ユーザー名 (Username)] フィールドまたは [パスワード (Password)] フィールドのいずれかが空白の場合、電話機の [サインイン (Sign in)] ソフトキーが灰色で表示され、ソフトキーを押すことができません。

ステップ 4 (任意) 別の認証情報でログインする場合は、新しいユーザー名とパスワードを入力します。

BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加

ユーザは、電話機の内線に複数の場所を追加できます。このため、着信コールをユーザの電話機から、内線に追加した他のモバイルフォンまたはデスクフォンにシームレスに移動させることができます。

始める前に

管理者が、内線でエニウェア機能を有効にしています。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。

ステップ 3 [エニウェア (Anywhere)] を選択します。

ステップ 4 (任意) BroadWorks エニウェアが複数の回線で構成されている場合は、回線を選択します。

ステップ 5 [場所 (Locations)] 画面に連絡先の番号と名前を追加します。

入力可能な名前の最大長は 25 です。[名前 (Name)] フィールドは空のままにすることもできます。

入力可能な番号の最大長は 20 です。

ステップ 6 場所を有効または無効にします。

ステップ 7 [保存 (Save)] を押して、場所を [場所 (Locations)] リストに追加します。



第 7 章

製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(117 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(119 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(122 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(123 ページ\)](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

外部デバイス

不要な無線周波数 (RF) 信号および可聴周波数 (AF) 信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。

- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークが Power over Ethernet (PoE) に対応している場合、使用する会議電話をネットワークに接続することができます。

ご使用のネットワークが PoE に対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声に影響を及ぼすため、場合によっては、通話が中断される可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク。
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃。

UL 警告

デバイスに接続された LAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

ENERGYSTAR



次の電話機は EnergyStar 認定を取得しています。

- Cisco IP 会議用電話 7832

製品ラベル

製品ラベルは、デバイス底で確認できます。

準拠宣言

EU への適合宣言

CE マーク

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が干渉の原因となることはありません。また、(2) 本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

デバイスは、RSS 102 の 2.5 項の定期的な評価制限および RSS-102 RF 被曝の準拠からの適用除外を満たしています。ユーザーは、RF 被曝とコンプライアンスに関するカナダの情報を取得できます。Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la section 2.5 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

このトランスミッタは、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に設置したり、一緒に操作したりすることはできません。本製品は、ラジエータと人体の間に 20 cm 以上の距離をあけて設置および使用する必要があります。

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

5150 ~ 5250 MHz の帯域で動作するデバイスは、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすため、屋内でのみ使用するようになっています；

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5250 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz の帯域のデバイスで許容される最大アンテナゲインは、装置が e.i.r.p. の制限に準拠している必要があります；

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5725 ~ 5850 MHz の帯域のデバイスで許容される最大アンテナゲインは、装置が、必要に応じてポイント対ポイントおよび非ポイント対ポイント動作に指定されている e.i.r.p. の制限に準拠している必要があります。

les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux；

le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5250-5350 MHz et 5470-5725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.；

le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5725-5850 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.

ニュージーランドへの適合宣言

接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意の品目に対する Telepermit の付与は、Spark NZ ネットワークに接続するための最低条件をその品目が満たしていることを Spark NZ が同意したことを示しています。Spark NZ が製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を提供するものでもありません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Spark NZ の全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。

適合情報（ブラジル）

Art. 5º ~ 680

この装置は、有害な干渉から保護を受ける権利はなく、適切な認可システムで干渉を引き起こすことはできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

モデル (Model)	番号 (Number)
7832	00748-18-01086

適合情報（日本）



クラス B 機器の VCCI コンプライアンス

FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) は、次の項目に関するコンプライアンスに関する考慮事項を義務付けています。

FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が、有害な干渉を発生することはありません。また、(2) 本製品は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れなければなりません。

FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります。手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.gov/ear> をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>

『Regulatory Compliance and Safety Information』

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/7832/regulatory_compliance/RCSI-0311-book.pdf

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。